

CEFR A2を目指す高校生・高校生保護者様対象



学習の進め方動画

TOEFL Junior®

受験後の学習アドバイス

～スコア600～630点/CEFR A2を目指す～

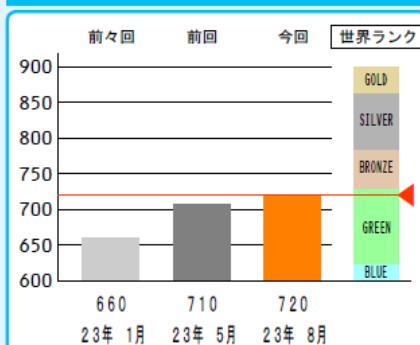
メタメトリックス社公認レクサイルエドゥケーター
一般社団法人国際教育英語試験協会 理事
齋藤 美祈

オフィシャルスコアガイド

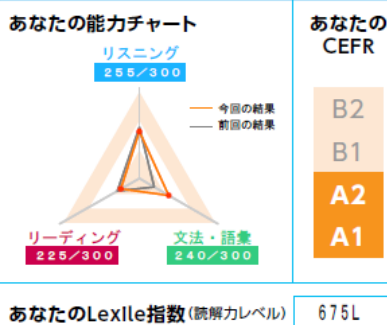
TOEFL Junior®の結果は、合否判定ではなく、スコアで表されます。

TOEFL Junior® STANDARD スコアガイド

スコアの伸び(合計スコア)



能力チャート・CEFR・Lexile指数



あなたのセクション別CEFRレベル・パフォーマンスの説明

セクション	CEFR	パフォーマンスの説明
リスニング	B2 B1 A2 A1	● 内容が学術的か一般的かを問わず、表現が明確で、簡単な英語によって文脈が明確であれば、長めのスピーチについて、趣旨を理解できる。 ● 内容が学術的か一般的かを問わず、簡単な英語で文脈が明確であれば、長めのスピーチについて、重要ポイントを特定できる。 ● 簡単な英語で文脈が明確であれば、短いスピーチについて、内容を推測できる。 ● やや複雑なスピーチで使われる一般的なイデオロムを理解できる。 ● 身近な内容であれば、話し手がどのように情報を使っているか理解することができる(例:意見を補足するために、比較をしたり証拠を提示したりする)。
文法・語彙	B2 B1 A2 A1	● 一般的な内容であれば、最も基本的な文法構造(例:動詞の現在形・過去形など)の意味や使い方を正確に認識できる場合がある。 ● 最も頻繁に使われる、一般的な語彙を身につけている。 ● 一般的な内容であれば、文章の効果的な段落構成を認識している場合もあるが、学術的な内容では困難となる場合が多い。
リーディング	B2 B1 A2 A1	● 表現が明らかで、内容が一般的であれば、趣旨を特定できる場合がある。 ● シンプルな英語で文脈が明確であれば、内容が学術的か一般的かを問わず、基本的なポイントを特定できる場合がある。 ● 予定表やメニューなど、日常的かつ一般的な語彙を用いた非定型の文章から、基本的な情報をおおむね見つけることができる。 ● 平易な文章で、内容が一般的であれば、場合によっては単純な推測を行うことができる。 ● シンプルな構成の文章で、内容が一般的であれば、文脈から知らない単語の意味を把握できる場合がある。

© 2017 Kumon Institute of Education Co., Ltd. (<https://www.toefl-junior-primary.jp/guid/junior/result/>)

TOEFL Junior® を受験された皆さんへ

今回ご案内する動画とレポートは、TOEFL Junior® の オフィシャルスコアレポートをもとに、あなたの英語力に合った学習方法を紹介しています。まずは、提示された方法の中から 自分に合うものを一つ選び、今日から無理なく続けられる学習習慣づくりに役立ててください。

この動画・レポートの目的

- ◆ スコアレベルに合った学習法が分かる
- ◆ 身につけた学習法を、他の教材でも応用できるようになる
- ◆ 結果として、英語力の向上とTOEFLスコアの伸びにつながる

資料の使い方

- ◆ この資料は データ(冊子)または動画で確認することができます。
- ◆ 「目的別!おすすめの学習手順」から、自分に合う内容を選んで取り組むこともできます。
- ◆ 動画は 5 分前後(最長でも 10 分未満)です。

準備するもの

- ◆ 「TOEFL Junior® 受験後の学習アドバイス 600点~630点/CEFR A2 目標」(データ版/動画リスト)
- ◆ 『TOEFL Junior® Test』 Basic レベル(データ版)

目的別!おすすめの学習手順

✿ “マインドセット”から整えたい方 (取り組む前の気持ちづくり)

→ 動画を最初から順番に視聴

✿ 英語の自己学習法について“基礎”から確認したい方

4.4. 英語力アップを支える学習法 ~超基本編~(次の2本で構成されています)

- 4.4.1. 英語の音とリズム 「耳と口を鍛える」(リスニング基礎)
- 4.4.2. 英文を訳さず語順通りに理解 「目と口で語順処理能力を鍛える」(リーディング基礎)

✿ TOEFL Junior® の“セクション別”に学びたい方

- 4.1. Listening Comprehension (リスニングセクション)
- 4.2. Language Form and Meaning (文法・語彙セクション)
- 4.3. Reading Comprehension (リーディングセクション)

✿ 自己学習や“実践練習”を継続したい方

- 4.5. 模擬問題を使って自己学習・実践練習を進めよう

レポート巻末の問題分析一覧では、セクションごとに スコア別のおすすめ問題を掲載しています。問題のジャンルや内容を参考にして、取り組みやすい問題を選び、実践練習を続けましょう。



ゲストエリア
パスワード:
toeflpj

TOEFL Junior
Basic 音源
Basic 問題
Basic 解答
をダウンロードしてください。



目次

1. はじめに：英語力をライフスキルとして再定義する	p.2
2. TOEFL Junior®とは	p.3
2.1. 「習得度」と「熟達度」：測定領域の違い	p.3
2.2. 統一スケールで目指す英語力の成長	p.4
2.3. 既存の強みを「世界標準のOS」へ変化させるブリッジ	p.4
2.4. TOEFL Junior®で身につく世界基準のOS	p.5
3. TOEFL Junior®オフィシャルスコアレポート活用ガイド	p.5
3.1. スコアの見える方・考え方	p.5
3.2. 合否のない試験だからこそ、期待できること	p.5
4. セクションとスコア別英語運用の解説と学習方法	p.7
4.1. Listening Comprehension セクション	p.7
4.1.1 目標スコア210点	p.8
4.1.2 目標スコア210点以上	p.12
4.2. Language Form and Meaning セクション	p.14
4.2.1 目標スコア210点	p.15
4.2.2 目標スコア210点以上	p.17
4.3. Reading Comprehension セクション	p.19
4.3.1 目標スコア210点	p.20
4.3.2 目標スコア210点以上	p.22
4.4. 英語力アップを支える学習法～超基本編～	p.25
4.4.1. 英語の音とリズム「耳と口を鍛える」	p.25
4.4.2. 英文を語順通りに理解「目と口で語順処理能力を鍛える」	p.27
4.5. 模擬問題を使って練習自己学習を進めよう	p.31
5. おわりに	p.37

1. はじめに：英語をライフスキルとして再定義する

「TOEFL Junior®テストを受験した高校生の皆様、そして、保護者の皆様へ

この冊子を手にとってくださった皆さんは、TOEFL Junior®の受験を通して、英語という新しい扉を開こうと自ら行動を起こされました。本冊子は、皆様の英語との向き合い方がより建設的で、かつ長期的に継続できるものとなるよう作成されたサポートガイドです。

私は英語教育に携わる前の約10年間、オーストラリア・シドニーの法人で現地の同僚と共に職務に従事しておりました。日本の学校教育で得た英語を基礎として、実際に仕事をし、生活を営むこと。その日々は、まさにTOEFL®やTOEIC®の設問を切り取ったかのような場面の連続でした。その後、英語講師、そして英語学習アドバイザーとして学生から社会人まで多くの学習者、そして保護者の皆様と向き合う中で確信したのは、英語を「勉強」ではなく、一生を支える「ライフスキル」として捉えることの重要性です。

世界基準の試験であるTOEFL Junior®を通して、皆様がどのような価値を手にすることができるのか。本冊子が、皆様の英語力を強化する一助となれば幸いです。

どうして「やはり英語」なのか

現代社会において英語は、世界と接続するための「共通インフラ」です。現在、世界の英語利用人口は約15億人に達していますが、そのうち母語話者は4億人に満たず、11億人以上が非ネイティブとして英語を利用しています。中国語話者も同規模存在しますが、その大半が母語話者であることを考えれば、

英語の「開かれた道具」としての特異性は明白です。特定の国や文化を超え、多様な背景を持つ人々が情報をやり取りするための世界標準の道具。それが英語なのです。

求めているのは語学スキルではない ～外国語効果～

自動翻訳技術が向上し、情報の受け取りに不自由しない時代であっても、自ら英語を扱うことには大きな合理性があります。近年の研究では、外国語を学び使用するプロセスそのものがポジティブな影響を与える「外国語効果(Foreign Language Effect)」が明らかになっています。具体的には、以下の3つの力が養われると言われています。

- **客観的な判断力：**母語特有の感情的バイアスから解放され、より合理的な意思決定が可能になる。
- **批判的思考(クリティカル・シンキング)：**英語で思考する際は脳が「熟考モード」に切り替わるため、安易な情報に騙されにくくなる。
- **不確実性への耐性：**未知の文化や「すぐには理解できない事態」に身を置く経験が、正解が一つではない現代を生き抜く強さ(曖昧さへの耐性)を育む。

かつて、都内の大学で留学生支援を担当していた先生はこうおっしゃいました。「語学は勉強すれば日本でも伸ばせる。学生に留学で求めているのは、異なる文化の中で、どう考え、行動し、自分がどう変化するのか。それを経験してほしいんだ。」この言葉の核心

こそが、外国語効果をもたらす「自己の変容」だったのだ、と思い返しています。

「始めること」と「やめないこと」

英語の習得は、受験のため、テストのためといった一時的なイベントではなく、日常の「衛生習慣」に近いものです。手洗い、うがい、歯磨き。バランスの良い食事。私たちは、強いモチベーションがなくても、これらが自然と習慣化されています。幼いころからの継続を通して「行わないことによるリスク」を肌感覚で知っているからです。実は、英語も

これと同様なのです。

情報の鮮度や正確性を保つための「知的な衛生習慣」として、英語に触れることを日常生活に組み込んでしまう。それが、最も効果的かつ持続的な習得方法となります。

最大のハードルは、「始めること」そして「やめないこと」です。歯磨きだって、時には面倒な日もありますし、疲れて寝てしまうこともあるかもしれません。でも、だからといって一生やめてしまうことはありません。英語も、それと同じで問題ありません。

2. TOEFL Junior®とは

2.1. 「習得度」と「熟達度」：測定領域の違い

数ある英語テストの中で、TOEFL®が日本の英検®やGTEC®等と一線を画す点は、その測定領域にあります。

- **英検®・GTEC®・模擬(習得度：Achievement)：**主に学習指導要領の範囲内で「授業で学んだことがどれくらい定着したか」を測る試験です。試験結果は合否、スコアなどさまざまです。
- **TOEFL®(熟達度：Proficiency)：**世界の同年代が送る日常生活や授業内容を含む学校

生活をシミュレートし、その環境下で「英語でどれくらい活動できるか」を測定します。試験結果はスコアで提示されます。

言い換えると、TOEFL®は、今、皆さんが毎日送っている生活をそのまま英語に置き換えたとき、どれだけ使いこなせるか。年齢に合った、オーセンティック(本物)な題材で、「英語運用力の広がり＝できることが増えていく成長の様子」を測定するのが特徴です。

TOEFL®テストとは 熟達度測定

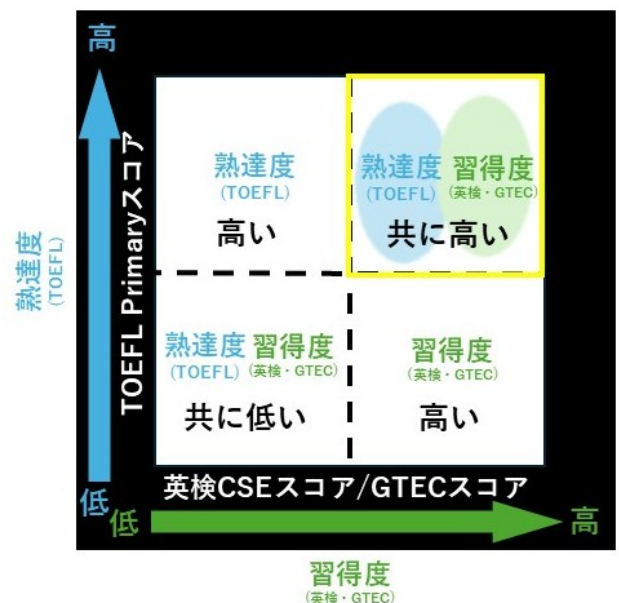
英語を母国語としない世界中の**小学生・中学生**を対象に開発された世界共通の**英語運用能力【熟達度】測定テスト**

発達段階に合わせた題材で、英語圏の児童が日常や学校生活で使っているオーセンティックな英語(ナチュラルな英語)を実践的な場面でどれだけ使えているか(英語運用能力)を測定する。

英検®・GTEC®とは 習得度測定

皆さんにとって最も馴染み深い英検®は、小学校5年生から高校3年生の学習指導要領に沿った検定教科書の一定の範囲(語彙と文法に制限が入った英語)を学習し、その学習範囲をどれだけ習得したか(理解し、覚えたか)を測定。

英検®3級:中学卒業程度水準 英検®2級:高校卒業程度水準



2.2. 統一スケールで目指す英語力の成長

もう一つの大きな違いは、「合否」の有無です。合否がある試験や、基準点や平均点など合格ラインが示される模擬は、範囲を懸命に学習した結果が明確に現れ、成功体験を得られるという良さがあります。その一方で、合格ラインさえ超えてしまえば、多少の「不足している知識」を残したまま次へ進んでしまう、という側面も否定できません。例えば、正答率70%で合格した英検級を、あえて「95%の正答率を目指してもう一度受けよう」と考える人は、きっと稀でしょう。

しかし、現在の測定レベルに「穴」が開いたまま次のレベルの学習に取り組むことは、高度な英語力を支える根が弱く浅い状態で、どんどん枝葉を伸ばそうとしているようなものです。これでは、いつかどこかで成長が止まってしまったり、小さな嵐で倒れてしまったりしかねません。

実際、これまでの指導の中でも「英検～級は合格してるけど、実はわからないことがある」「最近、急に英語が難しく感じてきた」「文法はできるけど、リスニングがついていけない」「リスニングはなんとなくわかるけど、リーディングは長すぎて難しい」……そんな不安を抱えた生徒さんを、私はたくさん見てきました。

一方で、スコアで現状を示すTOEFL®テストは、「スコアが上がった」という事実を通して、「本物の英語を使える場面が着実に増えた」という純粋な成長を証明してくれます。今の実力をありのままに映し出し、現在地と次に向かう目的地を静かに示してくれる――。合否や基準点との「差」ではなく、自分の成長をしっかりと映し出してくれる、TOEFL®は、そんな英語学習の「伴走者」のような

存在なのです。

2.3. 既存の強みを「世界標準のOS」へ変化させるブリッジ

知識は言語の壁を越える TOEFL Junior®では、英語力のみならず、理科や社会などの他教科で培った知識や論理的思考力が直接スコアに反映されます。

かつて私が国立大学の工学部でTOEFL®講座を担当した際、宇宙の法則や振子運動などに関する設問において、毎年、学生たちが高い正答率を記録しました。これは英語力が突出していたからではなく、「**すでに知っている概念**」であれば、英語であっても脳は**正しく情報を処理できる**ことを証明しています。TOEFL®は世界中の英語を学習している同じ年代の英語運用能力を測定する試験です。単語帳の中だけが英語の学び場ではありません。皆さんが積み上げてきた「知識の蓄積」そのものが、世界基準の英語を読み解く武器になります。

【TOEFL®が扱う多彩なジャンル】

- **自然科学**：生物、地学、天文学、環境問題
- **社会科学**：歴史(伝記・出来事)、地理、文化、経済の基礎
- **芸術・教養**：美術史、音楽の歴史、心理学、技術革新

きっと、皆さんの得意なジャンル、興味のあるジャンルも含まれているのではないのでしょうか。

2.4. TOEFL Junior®で身につく世界基準のOS

言い換えると、英語力を上げるということは、日本語というOSでこれまで一生懸命に構築してきた思考力や知識体系を、英語というOSの上でもそのまま機能させる「切り替え機能(インターフェース)」を身につけることなのです。

自身の専門性や探究心を英語のために制限するのではなく、それらを活用するための

「ブリッジ(架け橋)」として英語を位置づけてみてください。これが、TOEFL Junior®テストを通して得られる価値だといえそうです。

さて、次のセクションでは、TOEFL Junior®テストの模擬問題に触れていきます。どのような力を測定しようとしているのか、スコア別にその中身を具体的に見ながら、「何を、どのように強化していけばよいのか」を一緒に紐解いていきましょう。

3. TOEFL Junior®オフィシャルスコアレポート活用ガイド

テスト結果が届いたら、お手元の「オフィシャルスコアレポート(公式成績表)」と、「スコアレポート解説」(次のページ)を照らし合わせながら、自分の現在地を確認しましょう。

3.1. スコアの見え方・考え方

TOEFL Junior® Standardテストは、Listening Comprehension, Reading Comprehension, そして Language Form and Meaningという3つのセクションで構成されています。各セクション300点満点、テスト全体で600点～900点までのスコアで測定されます。

3.2. 合否のない試験だからこそ、期待できること

TOEFL®には、「級別の試験」にはない特徴があります。それは、「年齢に合わせた題材を使いながらも、英語面では幅広い難易度の問題が出題されている」ということです。たとえば「英検®」の場合、3級のテストには

「3級レベル」の問題を中心に題されています。しかしTOEFL Junior®では、幅広い難易度の英語力を測定する問題が出題されています。

一見難しく感じるかもしれませんが、これこそが「熟達度」を測る試験のメリットです。繰り返し、世界基準で統一された同じ試験を使うことで「今の実力で確実にできること」と「次にできるようになりたいこと」を、一本の物差しで正確に把握できるため、効果的な学習に取り組むことができます。

次の章では、各セクション別にスコア別問題解説をしていきます。今、自分が持っている英語力そして、次に身につけられると期待できる英語力を確認しましょう。

TOEFL Junior® オフィシャルスコアレポート 解説



4. セクションとスコア別英語運用の解説と学習方法

4.1. Listening Comprehension セクション

リスニング問題は、今皆さんが学校生活の中で交わしている会話や授業内容を**すべて英語に置き換えたら、**どんなことはスムーズにできて、また、どんな点は困るのか、を測定する問題です。

スコアごとに基本的なスキルや多ジャンルの語彙が身についているか、自分の学校生活語彙が身についているか、自分の学校生活や日常生活の一部をぱっと英語で表現できるかを確認し、学習の目安としましょう。

TOEFL Junior® ~Basic Level ~ Listening Section			
スコア (300点満点)	求められるスキル	必要な語彙・文法力	ジャンル
290-300	・4～10文程度のやり取りやトークを聞き続ける力 ・聞きながらメモを取る力 ・聞きながら選択肢を素早く読む力	・幅広い語彙と構文 - アメリカや北米に関する語彙・知識 - 思い出や過去の出来事などの詳細な描写	授業(美術史・生物・地質学・考古学・アメリカの歴史) 校内活動(ボランティア) 家族について(祝い事やトラブル、思い出描写)
245-285	・4～6文程度のやり取りやトークを聞き続ける力 ・聞きながらメモを取る力 ・聞きながら選択肢を素早く読む力	・幅広い語彙と構文 - 自分が学んでいない高校教科のキーワード - アメリカや北米に関する語彙・知識 - 手順やルールの説明	授業(生物・文化史・アメリカの歴史) 校内活動(学食など施設の案内・スポーツ・)
210-240	・英語特有の強弱リズム・等時性に合わせて、始めの2～3文程度のやり取りやトークを聞き続ける力 ・選択肢を素早く読む力	・基本語彙 - 重要教科のキーワード ・助動詞の理解 - must, must be, couldやwouldなどの多様な用法 ・従属接続詞の理解 - while, because, after	授業(美術・生物・数学・アメリカの歴史) 生活指導(交通・環境・健康) 校内活動(博物館・チャリティー)
200-	・英語特有の強弱リズム・等時性に合わせて文単位で英語を聞く力	・基本語彙 - 中学で学んだ教科のキーワード ・SVC, SVOの語順で理解する力 ・要望・依頼・勧誘の表現 - I would like to ~ - I want you to ~など	授業(美術、音楽) 生活指導(健康) 校内活動(チャリティーなど)

※各スコアに求められる力は上記以外にも多岐にわたります。TOEFL®のスコアをもとに、自己学習を始めるための目安として活用してください。※各スコアレベルにお勧めの問題一覧はpp.31～36に記載しています。

ここからは、「**非売品データ版『TOEFL Junior® Test』模擬テスト**」を活用しながら、現状を把握していきましょう。

『TOEFL Junior® Test』 模擬テスト Listening セクション pp.046-051/解答集 pp.004-015)

ここでは、次の2つの力の現状を把握できます。

問題文(リスニング力)： 英語の音声を聞いて内容を理解する力
選択肢(リーディング力)： 英語で書かれた選択肢を理解する力

4.1.1 セクションスコア目標210点

Question 1. 『TOEFL Junior® Test』 模擬テスト p.008/解答集 p.004

皆さんは、音楽の先生の話聞いています。授業の後で、欠席していたクラスメイトに、「先生、なんて言ってた？」と聞かれたらどう答えますか。

問題の音声はこちら



先生の話(音声):

こんにちは、生徒のみなさん!音楽は好きですか?楽器を演奏することができますか?
もしそうなら、スクールバンドに入部するよう、みなさんを招待したいと思います!
そうです!我がスクールバンドには、学内の優秀な生徒たちがいます。
だからご家族と相談して、バンド練習室の隣にある私のオフィスに訪ねて来てください。



皆さんがクラスメイトに説明する内容:

- (A) 優秀な生徒がスクールバンドに入部する理由を、説明した。
- (B) 生徒たちが楽器が弾けるかどうか、聞いた。
- (C) スクールバンドのことを親にも伝えるように、再度伝えた。
- (D) スクールバンドの入部者を募集していると、勧誘した。

☆役に立つExercise☆

ハイライト箇所、赤字箇所には、どのような英単語が使われるか、書き出してみましょう。

(例: 楽器、～したい、招待する、スクール、バンド、最高の生徒たち、両親と話す、など)

先生の話(音声):

こんにちは、生徒のみなさん!音楽は好きですか?**楽器を演奏**することができますか?
もしそうなら、**スクールバンドに入部するよう、みなさんを招待したい**と思います!
そうです!我がスクールバンドには、学内の**優秀な生徒**たちがいます。
だからご**家族と相談**して、バンド練習室の隣にある私のオフィスに訪ねて来てください。



皆さんがクラスメイトに説明する内容:

- (A) **優秀な生徒**がスクールバンドに入部する理由を、**説明した**。
- (B) 生徒たちが**楽器が弾ける**かどうか、**聞いた**。
- (C) スクールバンドのことを**親にも伝える**ように、**再度伝えた**。
- (D) スクールバンドの**入部者を募集していると、勧誘した**。

できましたか？では実際の英語の原文と選択肢を見てみましょう。

Q1 問題の音声はこちら



先生の話(音声):

Hello students! Do you love music? **Can you play an instrument?**

If you do, **I want to** personally **invite you to join the school band!**

That's right! Our band program has some of **the finest students** at Auburn Middle School.

So **talk to your parents**, and then come see me in my office next to the band room.

先生の話の「主旨」ですから、先生の強い意志が伝わる

“**I want to** personally **invite you** to join the school band!” を選べます。

(I want to ～＝～したいです！)

皆さんがクラスメイトに説明する内容:

(A) To explain why **the best students** join the school band

(B) To ask students if they **can play an instrument**

(C) To remind students to **talk to their parents**

(D) To invite students to join the school band

☆役に立つExercise～発展～☆

音楽の先生の場면을例として、サッカー部、料理クラブ、塾の先生、など自分が今受けている授業の先生に置き換えてみましょう。覚えたこと、知っていることが「実際に使える英語力」としてどんどん身につきます！

試験問題:先生の話(音声):

Hello students! Do you love **music**? Can you **play an instrument**?

If you do, I want to personally invite you to join the **school band**!

That's right! Our **band program** has some of the finest students at **Auburn Middle School**.

So talk to your parents, and then come see me in my office next to the **band room**.



サッカー部に置き換えた例:

Hello students! Do you love **soccer**? Can you **play soccer**?

If you do, I want to personally invite you to join the **school soccer team**!

That's right! Our **soccer team** has some of the finest students at **Sakura High School**.

So talk to your parents, and then come see me in my office next to the **gymnastic**.



自分のクラブに置き換えてみましょう!

Hello students! Do you love(科目やクラブ)? Can you (実際にやること)?

If you do, I want to personally invite you to join the (クラブ名)!

That's right! Our (クラブ名) has some of the finest students at (学校名) High School.

So talk to your parents, and then come see me in my office next to the (顧問の先生の部屋).

Question 2. 『TOEFL Junior® Test』 模擬テスト p.008/解答集 pp.004-005

別のリスニング問題を使って、もう一度、同じ学習法を実践してみましょう。

皆さんは、校長先生の話聞いています。授業の後で、欠席していたクラスメイトに、「先生、なんて言ってた?」と聞かれたらどう答えますか。

Q1 問題の音声はこちら



校長先生のお話(音声):

こんにちは、皆さん。

今夜、バスケットボール選手権大会があることを、再度お知らせしたいと思います。

Hemet中学校で試合を見たい生徒たちを連れて行くために、

4時30分にバスが2台、外に準備されます。

皆で我が校のチームを応援してください。がんばれ、Bears!



皆さんがクラスメイトに説明する内容:

- (A) 生徒たちに、バスケットボールの決勝戦(選手権大会)について再度伝えた
- (B) 今年の決勝戦がどこで開催されるかを生徒たちに伝えた
- (C) バスケットボール部が決勝戦で優勝したことを生徒たちに知らせた
- (D) 今日は授業が早く終わる(早退・早期解散になる)ことを生徒たちに知らせた

☆役に立つExercise☆

・リスニング内容と選択肢、重複する箇所や、クラスメイトに「主旨を伝えるために」重要だな、と思う箇所をハイライトしてみましょう!

・できたら、ハイライト箇所、赤字箇所には、どのような英単語が使われるか、書き出してみましょう。

校長先生の話(音声):

こんにちは、皆さん。

今夜、バスケットボール選手権大会があることを、再度お知らせしたいと思います。

Hemet中学校で試合を見たい生徒の皆さんのために、

4時30分にバスが2台、出発します。

皆で我が校のチームを応援してください。がんばれ、Bears!

皆さんがクラスメイトに説明する内容:

- (A) 生徒たちに、バスケットボールの決勝戦(選手権大会)について再度伝えた
- (B) 今年の決勝戦がどこで開催されるかを生徒たちに伝えた
- (C) バスケットボール部が決勝戦で優勝したことを生徒たちに知らせた
- (D) 今日は授業が早く終わることを生徒たちに知らせた

できましたか? では実際の英語の原文と選択肢を見てみましょう。

Q3 問題の音声はこちら



先生の話(音声):

Good morning, students.

I would like to remind you that the championship basketball game is tonight.

There will be two buses outside **at 4:30** to take students who want to see the game **at Hemet Middle School.**

I hope everyone comes out and supports our team. Go Bears!

先生の話の「主旨」ですから、先生の丁寧な意志が伝わる

“**I would like to** remind you that the championship basketball game is tonight.”を選べます。

(I would like to ～＝～したいです!)

皆さんがクラスメイトに説明する内容:

- (A) **To remind students** about the championship basketball game
- (B) To tell students where the championship game is being played this year
- (C) To inform students that the basketball team won the championship game
- (D) To let students know that they will be dismissed early today

☆役に立つ Study Tips スコア210点☆

次の2つのポイントを耳でも、文字でも瞬時に反応できるよう、繰り返し言う、書く練習をしましょう。

・何かを再度伝える(念を押す)ときによく使う動詞: **remind**

・要望を伝えるときによく使う表現: **I want to ~, I would like to ~**

4.1.2. セクション目標スコア210点以上

Question 1～8 (非売品データ版『TOEFL Junior® Test』模擬テストp.008/解答集pp.004-007)

幅広い語彙を使う力、より自然なコミュニケーション力が身につけていることが分かります。

問題文(リスニング力): 英語の音声を聞いて内容を理解する力

選択肢(リーディング力): 英語で書かれた選択肢を理解する力

Question 3.

Q3 問題の音声はこちら



先生の話(音声):

Your final exam is Friday.

I will allow you to bring a study sheet.

That means you can bring some notes on a piece of paper.

The reason is I don't expect you to memorize all the formulas.

It's more important that you know which one to use and how to use it.

先生の話の「主旨」を表現する I will allow you to～(～してよい＝許可)とその理由を説明する I don't expect you～(～することは期待していない)というより高度な表現を使いこなせるでしょうか。

皆さんがクラスメイトに説明する内容:

- (A) To tell students that they need to memorize all the formulas
- (B) To tell the students that they can bring a study sheet to the exam
- (C) To remind students that there will be many formulas on the exam
- (D) To warn students to use study sheets when they study for the exam

☆役に立つ Study Tips 210点以上☆

同じ内容を、異なる言い方で表現できるよう、繰り返し言う、書く練習をしましょう。

・「許可＝～してもよい」

You can bring a study sheet.

I will allow you to bring a study sheet.

・「～する必要がある、～することを期待している」

You need to memorize all the formulas.

I expect you to memorize all the formulas.

☆役に立つ Study Tips スコア210点以上☆

次の3つの構文を耳でも、文字でも瞬時に反応できるよう、繰り返し「感情をこめて」言う、書く練習をしましょう。

1. That means ~ = 「つまり～ってこと」

That means you can bring some notes on a piece of paper.

2. The reason is ~ = 「理由は～だからです」

The reason is I don't expect you to memorize all the formulas.

3. It's more important that ~ = 「もっと大切なのは、～ということです」

It's more important that you know which one to use and how to use it.

Question9~42(非売品データ版『TOEFL Junior® Test』模擬テスト pp.009-013,/解答集 pp.007-015)

授業でグループごとの話し合いや、先生の授業を最後まで聞いてから、その内容について、主旨や詳細の情報を聞き取れる力を確認することができます。アカデミック＝授業の内容についても幅広く出題されるので、皆さんが得意なジャンルもあると思います。

☆役に立つStudy Tips スコア210点以上☆

リスニング問題として、「聞いて」「解いて」答え合わせをするのではなく、上記で紹介したように、会話の原稿を見て、トークの内容を細かく分析してから(=内容を十分に理解してから)自分がその役を演じているようにすらすらと暗記できるまで練習することで「テストに正解する方法」だけでなく、「実践的な力」が伸びていきます。

☆役に立つExercise スコア210点以上☆

「量」と「スピード」に少しずつ慣れて行きましょう。

・日常生活を話題にした会話とアカデミック問題、どちらか一つ、取り組みやすい内容の問題を一つ選んで、上記で紹介した分析と練習に挑戦してみましょう。新しい単語や表現も、音声を聞きながら繰り返し練習し、自分が先生になって授業をしているようにすらすら言えるような状態を目指すのがポイントです。

お勧め問題: Question 13-16 学食での会話 または Question 30-33 トビウオの生態



Q13-16 問題の音声はこちら



Q30-33 問題の音声はこちら

4.2. Language Form and Meaning セクション

文法・語彙問題は今皆さんが基本的な情報について、教科書を読む、レポート書く、宿題に取り組む、など**学校での学習や活動を英語で行ったら**、どんなことはスムーズにでき

て、また、どんな点は困るのか、を測定する問題です。スコアごとに基本的なスキルや多ジャンルの語彙が身についているか、自分の学校生活や日常生活の一部をぱっと英語で表現できるかを確認し、学習の目安としましょう。

TOEFL Junior® ~Basic Level ~ Language Form and Meaning Section		
スコア (300点満点)	必要な語彙・文法力	ジャンル
280-300	動詞の多様な用法(分詞、不定詞の定型表現含む) 関係詞 比較表現	授業(生物、歴史) 文書(メディアの記事)
250-275	主語と動詞の一致 不定詞と動名詞の用法 関係詞 比較級	授業(芸術・生物・地理・社会問題) 生活(娯楽に関する記事) 物語(フィクション)
210-245	基本的な語彙(句動詞含む) 主語と動詞の一致 不定詞と動名詞の用法 比較級	生活(娯楽・Eメール・広告) 学校(連絡事項)
200-	基本的な語彙(前置詞の使い方含む) 主語と動詞の一致 比較級	生活(Eメール) 学校(連絡事項)

※各スコアに求められる力は上記以外にも多岐にわたります。TOEFL®のスコアをもとに、自己学習を始めるための目安として活用してください。

『TOEFL Junior® Test』 模擬テスト Language Form and Meaning セクション pp.030-043/
解答集 pp.022-028)

50語から100語以内の短い文で次の2つの力の現状を把握できます。

語彙力:文章全体の内容を素早く理解し、適切な語彙を選ぶ力

文法力:信頼される英語の使い手として、素早く正しい英文法を使いこなす力

例:街の再開発には 1. (A.長期的な B.長期的に C.長期間 D.長所と短所の)ビジョンと 2. (A.幼児教育 B.最先端医療 C.健康管理 D.都市開発)に関する専門的な知識が 3. (A.求める B.求めた C.求められる D.求め続ける)。

学習に役立つ問題の分析方法:

文法力の問題:品詞の異なる単語(1, 3の問題)

語彙力の問題:意味の異なる単語(2.の問題)

4.2.1. セクション目標スコア210点

Questions 5–8. 『TOEFL Junior® Test』 模擬テスト pp.032-033/解答集 p.023

完成した英文を使って、文法問題と語彙問題の分析をしてみましょう。

Attention All Participants in the City Music Festival:

5. There have been some changes to the Saturday schedule.

The vocal groups 6. will perform at 1:00 instead of at 3:00 in the Main Hall.

Also, the vocal soloist 7. performances at 10:00 a.m. have been moved from the Main Hall to the Dorothy Parker Theater.

We apologize 8. for any inconvenience this may cause.

問題文の日本語訳を見てみましょう。

市立音楽フェスティバルのすべての参加者にお知らせします。

土曜日のスケジュールに若干の変更が5. ありました。合唱団 は3時ではなく1時に大講堂で6. 公演します。

そして、午前 10時の7. 独唱公演は大講堂からDorothy Parker劇場に場所が変わりました。アクセス方法はフェスティバルプログラム冊子の裏面の地図を確認してください。このことで8. 不便をおかけしてしまい申し訳ありません。

問題分析をしてみましょう。

文法力の問題: Q. 5, 6, 7

語彙力の問題: Q. 8

問題の分析をすることで、自分の強みと弱みを確認しましょう。

5. There is / There are の発展形。意味上の主語some changes に合わせて “have been” を選ぶ

6. 今決まった予定を表現する助動詞 will + 動詞の原形

7. 主語と動詞を素早く見つけられるか (have の主語になれるのは、performances のみ)

8. Apologize for という句動詞の知識

Questions 5~8 refer to the following announcement.

Attention All Participants in the City Music Festival:

05.

- (A) Having been
- (B) There has been
- (C) There have been
- (D) Have been there

some changes to the Saturday schedule. The vocal groups

06.

- (A) to perform
- (B) will perform
- (C) have performed
- (D) performed

at 1:00 instead of at 3:00 in the Main Hall.

07. Also, the vocal soloist

- (A) performs
- (B) performances
- (C) performers
- (D) performative

at 10:00 a.m. have been moved from the Main

Hall to the Dorothy Parker Theater. Please check the map on back of the festival program

08. for directions. We apologize

- (A) for
- (B) in
- (C) with
- (D) by

any inconvenience this may cause.

☆役に立つStudy Tips スコア210点☆

次の4つのポイントについて、しっかりと理解を深めましょう。

- ・主語と動詞の関係(英語は物の数量や時に合わせて単語や発音を変える)
- ・動詞の使い方(不定詞、動名詞、現在分詞、過去分詞)
- ・疑問詞の意味と例文
- ・助動詞の意味と例文

学校で使っている教科書や単語帳などの中で、主語、動詞、疑問詞、助動詞、知らない単語をハイライトしましょう。**主語は青、動詞は黄色**など、それぞれの色や下線の種類を変えると視覚的に情報が入ってくるので、効率よく復習できます。

※文法も語彙も、「文字・音・フルセンテンス」の3点セットで学習するひと手間がこのパートの正答率と Listening Comprehension , Reading Comprehension のスコアを確実に伸ばします。

4.2.2. セクション目標スコア210点以上

さらに高いセクションスコアを目指すための学習法をご紹介します。

Questions 13–18. 『TOEFL Junior® Test』 模擬テスト pp.036-037/解答集 pp.024-025

完成した物語文を見てみましょう。

Theresaという少女の物語の一節です：

Theresa looked at the numbers on the lottery ticket again. 13.It was hard to believe that the ticket was worth \$3 million. 14.She knew that Uncle Cal was searching madly for it right now.

She planned to tell him, 15.but for now she just wanted to hang on to it and think.

“If I ever won a million dollars, I would be out of here!” he’d 16.once told her.

Now he had won a million dollars, and she 17.wondered if he really would leave.

Uncle Cal was all she had left—he was all 18.that remained of her family.

☆役に立つ 問題分析をしてみましょう☆

次の問題文と選択肢を見て、次のような分析ができるでしょうか。

語彙力の問題：Q. 15, 16, 17

文法力の問題：Q. 13, 14, 18

学習に役立つ問題の分析方法：

語彙力の問題：単語の意味が違う

文法力の問題：単語の品詞、時制、数量が違う

Questions 13~18 refer to the following part of a short story.

13. Theresa looked at the numbers on the lottery ticket again.

- (A) Its
- (B) It was
- (C) Its being
- (D) There was

hard

14. to believe that the ticket was worth \$3 million.

- (A) Knew her
- (B) To know her
- (C) Knowing her
- (D) She knew

that Uncle Cal was

15. searching madly for it right now. She planned to tell him,

- (A) unless
- (B) but
- (C) and
- (D) so

for now she just

wanted to hang on to it and think.

16. "If I ever won a million dollars, I would be out of here!" he'd

- (A) once
- (B) early
- (C) soon
- (D) still

told her.

17. Now he had won a million dollars, and she

- (A) discovered
- (B) wondered
- (C) described
- (D) ordered

if he really would leave.

18. Uncle Cal was all she had left—he was all

- (A) remained
- (B) what remained
- (C) that remaining
- (D) that remained

of her family.

Theresa just couldn't bear to lose him, too.

☆役に立つ Study Tips スコア210点以上☆

- ・問題分析の習慣をつけて、苦手な文法や語彙のジャンルを繰り返し練習しましょう。
- ・語彙問題が増えていきます。出会った語彙を文脈の中で、覚えていきましょう。
- ・英語のニュース記事や物語文などの中から、進行形、完了形、受動態、関係代名詞を使った文を探して読む、という練習をしましょう。関係代名詞は青、知らない単語は黄色など、それぞれの色や下線の種類を変えると視覚的に情報が入ってくるので、効率よく復習できます。

※文法も語彙も、「文字・音・フルセンテンス」の3点セットで学習する、ひと手間が、このセクションでより自然なスピード感で英文を読む力につながり、結果スコアを確実に伸ばします。

※完成文を何度も音読しましょう。長い Listening Comprehension、そして、Reading Comprehension のスコアアップにつながります。

4.3. Reading Comprehension セクション

リーディング問題は、今皆さんが、小説や史実、記事などを読み、その内容について概要や詳細を理解する、という学習を英語で行ったとき、どんなことはスムーズにできて、また、どんな点は困るのか、を測定する問題

です。

スコアごとに基本的なスキルや多ジャンルの語彙が身についているか、自分の学校生活や日常生活の一部をぱっと英語で表現できるかを確認し、学習の目安としましょう。

TOEFL Junior® ~Basic Level ~ Reading Section			
スコア (300点満点)	求められるスキル	必要な語彙・文法力	ジャンル
290-300	1分間に120語以上のスピードで、文書を読み理解する力 比喩や言い換え等、文脈から理解する力	・幅広い語彙と構文 アメリカや北米に関する語彙・知識 大学生の基礎的な知的関心興味 のキーワード	授業(人体科学・文化論・社会学) 文書(評論) 物語(フィクション)
245-285	1分間に110~120語程度のスピードで、文書を読み理解する力 戻り訳せず、語順通りに読み進める力	・幅広い語彙と構文 自分が学んでいない高校教科書のキーワード アメリカや北米に関する語彙・知識 手順やルールの説明	授業(科学・生態系・栄養学・アメリカの歴史) メディアの記事(広報) 物語(フィクション)
210-240	1分間に100語程度スピードで、200~250語程度の量を読み 主題や重要なポイントを理解する力 スラッシュや下線を引きながら戻り訳をせず読む力	・幅広い語彙 高校の重要教科書のキーワード ・長文の中から、主語、動詞そして、代名詞を素早く明確にとらえる力	授業(人体・科学・世界史・生活(食品衛生・学校からの連絡)) 物語(フィクション)
200-	1分間に80~90語程度のスピードで、150から200語程度の文書を読み理解する力 スラッシュを入れながら読むチャンクリーディングをする力	予定表や料金表などに使用される語彙・表現 文の中から主語、動詞、代名詞を認識する力	学校の予定表(行事など) 短い手紙やメール(お礼や依頼) 物語(部活動や日常生活)

※各スコアに求められる力は上記以外にも多岐にわたります。TOEFL®のスコアをもとに、自己学習を始めるための目安として活用してください。

『TOEFL Junior® Test』 模擬テストReading セクション pp.016-027/解答集 pp.016-021)

200語程度の英文について、次の力の現状を把握できます。

200語の英文を理解しながら読む～「スピード」と「量」への「耐力」～

- ・読解力(主旨、詳細情報、間接的な表現の理解)
- ・語彙力(イディオム、同義語含む)
- ・文法力(代名詞の理解含む)

Reading Comprehension の学習には、Listening Comprehensionのトランスクリプト(読み上げ原稿)とLanguage Form and Meaning の正解文を使いましょう。どちらも、単語の意味、文法の解釈、全文の筆写または、タイピングを行い、最終的には暗記するくらいまで音読練習に取り組みましょう。長文を目で追いながら意味を理解するために必要な「量とスピードに対応できる体力(耐力)」を筆写や音読を通して養うことで、自然にスコアが上がっていきます。

4.3.1. セクション目標スコア210点

まずは、読みやすい文書、または、文書の冒頭の1段落を丁寧に読む練習をしましょう。最初から、全問・全文に取り組む必要はありません。正解できる問題を一問ずつ増やしていきましょう！

長文の耐力をつける読み方～意味のカタマリ(チャンク)～で目を動かす～

①主語に下線、動詞にハイライトをしながら

②意味の切れ目にスラッシュを入れましょう(スラッシュ=/ (斜め線)

スラッシュを入れることで、一度に見る英文＝視野に入れて理解する英文の量を減らします。

スラッシュは、前置詞、接続詞、時間や場所を表す副詞などの前に書き込みましょう。

・他動詞はハイライトと併せて「～を」どうするのかが分かるように下線でつなげています。

(「精読」の練習は次のセクションで詳しく紹介します)

Question 6-11. 『TOEFL Junior® Test』 模擬テスト pp.018-019/解答集 p.017

Questions 6-11 are about the following e-mail.

Dear Uncle Jack,

Thank you for remembering my birthday. I loved the gift you sent me! When Mom and I opened up the card, I didn't think there would be anything in it. I wish you could have seen the look of surprise on my face when tickets to Big Boom's concert fell out of it! How did you know it was exactly what I wished for when I blew out the candles on my birthday cake? I have always wanted to see Big Boom live in concert. Thank you so much for making my birthday wish come true!

I invited my best friend, Janet, to go to the show with me. She loves Big Boom just as much as I do! We have already started to make posters to hold up at the concert.

Mom and Dad gave me a smartphone for my birthday. It takes great pictures and videos. I will make sure to use it at the concert so you can see Big Boom live in concert too!

Thank you again! I love you!

Tracie



Dear Uncle Jack, /
Thank you for remembering my birthday. /
 I loved the gift you sent me! /
 When Mom and I opened up the card, /
 I didn't think there would be anything in it.
 I wish you could have seen the look /
 of surprise /on my face /
 when tickets to Big Boom's concert fell out of it! /
 How did you know /
 it was exactly what I wished for
 when I blew out the candles /on my birthday cake? /
 I have always wanted /to see Big Boom live in concert. /
Thank you so much /for making my birthday wish come true! /

ここまでを丁寧に主語と動詞を拾っていくと、**Question 6, 7, 9**、に正解できるようになります。
 また、Question 8, 10, 11は本文を読み進めるだけでなく、問題文を正確に理解する必要もあるので、Reading Comprehensionの問題になれてから、正解できるようになれば十分です。

PART 3

6. Why did Tracie write the e-mail?

- (A) To ask her uncle for concert tickets
- (B) To thank her uncle for her birthday gift
- (C) To tell her uncle about her birthday party
- (D) To explain to her uncle why she likes Big Boom

7. What was Tracie's birthday wish?

- (A) To see Big Boom in concert
- (B) To blow out candles on a cake
- (C) To see Big Boom on her birthday
- (D) To get a birthday gift from her uncle

8. What can be inferred about Tracie?

- (A) She goes to many concerts.
- (B) She told her uncle not to get her a gift.
- (C) She has never been to a Big Boom concert.
- (D) She knew her birthday wish would come true.

9. In line 4, the word it refers to

- _____.
- (A) the gift
 - (B) the cake
 - (C) the card
 - (D) the wish

10. All of the following are things that Tracie plans to bring to the concert EXCEPT

- _____.
- (A) Posters
 - (B) Videos
 - (C) Her best friend
 - (D) Her smartphone

11. Why does Tracie mention a smartphone?

- (A) To show that she received a lot of birthday gifts
- (B) To compare the concert tickets to the smartphone
- (C) To suggest that she wants more gifts from her uncle
- (D) To explain how her uncle will be able to see the concert

I invited my best friend, / Janet, / to go to the show with me. /
 She loves Big Boom / just as much as I do! /
 We have already started to make posters /
 to hold /up at the concert. /
 Mom and Dad gave me a smartphone / for my birthday. /
 It takes great pictures and videos. /
 I will make sure to use it / at the concert /
 so you can see Big Boom live in concert too! /
Thank you again! I love you! /
 Tracie

4.3.2. セクション目標スコア210点以上

さらに高いセクションスコアを目指すための学習法をご紹介します。上記で紹介した「長文の耐力をつける読み方」を参考に、スラッシュを書き込みながら、「見るべきところ」を「視野を狭めて」確実に読み進めていきましょう！（スラッシュ＋主語、動詞、動詞の目的語、感情の形容詞など。）物語文と歴史（アカデミックな文）、自分の読みやすい内容から取り組みましょう。

Question 18-25. 『TOEFL Junior® Test』 模擬テスト pp.022-023/解答集 pp.019-020 物語文（フィクション）

Questions 18-25 are about the following story.



The game wasn't going well. It was the semi-finals of the National Middle School Soccer Championship. There were only five minutes left in the game and David's team, the Grovefield Gorillas, was losing. The score was 2-1.

"Come on Grovefield," shouted David's friends. "Come on, David! You can do it!" But David
 5 had no confidence. He was tired and his whole body ached. His family wasn't even at the game
 to cheer him on. Worst of all, he had lost his lucky shirt. There was no way his team could win

now.

But at least his team had the ball.

Billy Harris passed it to Craig Willard. Craig kicked the ball over the goalie's head. It went in!

10 The score was tied, 2-2! David began to feel better about the game.

As they were restarting the game, David saw his family car suddenly pull up in the parking lot. His parents and his brother Jack ran out of the car.

"David!" Dad shouted. "I found it! I found your lucky shirt!" He ran over to David.

As David quickly put on the shirt, he asked, "Where did you find it?"

15 "It was under Jack's bed. Now go win!"

David picked up the ball and ran into the penalty box. There were only five seconds left in the game! He shot the ball—GOOOOAAAALLLLLL!

It really was a lucky shirt!

PART 3

18. What would be the best title for this story?

- (A) David's Missing Shirt
- (B) The Race to the Soccer Game
- (C) David's Lucky Shirt Saves the Game
- (D) The Sad Story of the Grovefield Gorillas

19. In line 5, the word confidence is closest in meaning to _____.

- (A) belief
- (B) stress
- (C) problems
- (D) understanding

20. What can be inferred about Billy Harris?

- (A) He is a goalie.
- (B) He has a lucky shirt.
- (C) He is not a good kicker.
- (D) He plays for the Grovefield Gorillas.

21. Which player tied the score?

- (A) Jack
- (B) Billy
- (C) Craig
- (D) David

22. In line 11, the phrase pull up means _____.

- (A) stop
- (B) start
- (C) wait
- (D) close

23. In line 13, the word He refers to _____.

- (A) Billy Harris
- (B) David's dad
- (C) Craig Willard
- (D) David's brother

24. Where did David's dad find David's shirt?

- (A) In the car
- (B) Under Jack's bed
- (C) In the parking lot
- (D) Near the penalty box

25. Why does the author mention that there are only five seconds left in the game?

- (A) To prove that David's shirt is lucky
- (B) To explain how large a penalty box is
- (C) To suggest that it is very easy to make a goal
- (D) To show how little time David has to make a goal

Questions 26-33 are about the following passage.



The Colosseum in Rome, Italy, is one of the most famous buildings in the world. This 2,000-year-old outdoor stadium has 50,000 seats and has been used for many kinds of events.

The Colosseum was mostly used for gladiator games. Professional fighters would entertain audiences by fighting other gladiators. People loved watching these very bloody and deadly fights. Getting a seat to a gladiator game was often difficult, similar to popular sports games today.

Animal hunts were also held at the Colosseum. Painters and builders would create a large forest. It would even have real trees and plants. Exotic animals, such as hippos, giraffes, and tigers, were brought in from other countries. Contests would be held to see who could hunt and kill the most animals. These hunts were usually very large. One animal hunt even had 11,000 animals and 10,000 gladiators in 123 days.

The Colosseum has gone through earthquakes, fires, and other disasters. So, large events no longer take place inside. However, the Colosseum is still used for smaller performances and shows. And many large concerts are often held just outside of the Colosseum.

PART 3

26. What would be the most suitable title for the passage?

- (A) Many Uses of the Colosseum
- (B) How the Colosseum was Built
- (C) Gladiator Fights and Animal Hunts
- (D) Famous Buildings Around the World

30. What would workers create for an animal hunt?

- (A) A forest
- (B) Animals
- (C) Weapons
- (D) A building

27. All of the following is true about the Colosseum EXCEPT _____.

- (A) It is in Rome, Italy.
- (B) It has 50,000 seats.
- (C) It is a very famous building.
- (D) It was only used for gladiator games.

28. What does the author imply about gladiators?

- (A) They only pretended to fight.
- (B) They were often seriously hurt.
- (C) They would do funny things during a game.
- (D) They would try to fight people in the audience.

29. Why does the author mention modern sports games?

- (A) To show how popular gladiator games were
- (B) To explain why becoming a fighter is difficult
- (C) To point out that sports games today are violent
- (D) To suggest that tickets to sports games are expensive

31. In line 8, the word It refers to _____.

- (A) The hunt
- (B) The game
- (C) The forest
- (D) The Colosseum

32. In line 13, the phrase take place is closest in meaning to _____.

- (A) fit
- (B) wait
- (C) finish
- (D) happen

33. What happens outside of the Colosseum today?

- (A) Concerts
- (B) Fires
- (C) Hunts
- (D) Contests

GO ON TO THE NEXT PAGE

4.4. 英語力アップを支える学習法 ～超基本編～ 量と速さに耐えられる体力がつく

最後に、英語力を支える2つの基礎練習をご紹介します。高度な英語力を支える絶対に揺るがない基礎力をしっかりと身につけておくことで、不安なくレベルアップすることができるようになります。

ポイント：「目」・「口」・「耳」を同時に、バランスよく鍛えること。

4.4.1. 英語の音とリズム「耳と口を鍛える」

● 波のように立体的な英語のリズム

日本語は、話すときに、音の高低でイントネーションをつけることはありますが、**基本的にはどの単語も均等なリズム**で話します。

つまり、言葉の数が増えれば、話す時間も長くなります。一方で、**英語は**、話すときに、**波のように立体的な音の強弱や長短が加えられます。大切な情報は強く、長く、高く発声し、それ以外の情報は弱く、短く、低く発声します。**また、一定のリズムの中に収めて話そうとする傾向も強いため、言葉の数が増えても、話すリズムが変わりません。言い換えると、辞書にのっている**単語そのものの発音通りに発音しない「音声変化」**が起こり続けている言語です。

先ほど紹介した、模擬問題 Question 1で確認してみましょう。英語は、太字部分を強く、長く、高く発音し、それ以外の単語は一定のリズム内に収まるように、音を弱く、

短く、低く、、、とどんどん発音を変えて しまいます。

先生の話(音声):(抜粋)

Can you play an instrument?

Can – play – instrument? と3つの重要語が強く、長く、高く聞こえ、youと anはその間に埋もれて、音声変化が起こっていることが分かります。このリズムをしっかりと習得しておくことで、次のように単語が入れ替わっても、英語のリズムで聞き取る基礎がしっかりと身につきます。

Can you join our school band?

Can you make some coffee?

Will you help your father?

● 語彙・文法学習の基礎となる正しい発音

こうした練習は、リスニングやスピーキングの時だけに限定しないことが大切です。**単語や文法を学ぶときも、常に英語らしい音声で、大きな声に出す習慣を徹底しましょう。日本語では使わない筋肉を使って、英語の強弱リズムを体感する練習を続けましょう。**

大げさに顔を動かすのは恥ずかしいことかもしれません。しかし、英語を話すことは一つの演技であり、異文化体験そのものです。**小さな声での学習が積み重なると、やがて英検準2級～2級前後で「聞こえない」「話せない」だけでなく、単語や文法の知識はあるのに、英語のリズムで大量の文字情報を「テンポよく読む・書くことができない」という壁に直面します。「今、丁寧に練習しておくことが、後でもう一度覚え直すよりずっと効率的です。**

また、高校生であれば、筋トレと並行して**仕組みを論理的に理解することで学習効率を高める方法**もお勧めです。長期休みなどを利用してフォニックスの教材にまとめて触れる時間を持ち、「どうしてこういう発音なのか」という知識を持っておくことは、日々の学習の質を飛躍的に高めてくれます。

【お勧め教材】

- 「**あいうえおフォニックス**」(公式Webサイト・YouTube) アメリカとイギリスで生まれた兄弟(Momは日本人)が、フォニックスの仕組みを楽しく解説しています。英語の口の形をしっかりと身につける、毎日5分程度英語に触れる教材としてお勧めです。英語圏の若者の文化や話し方にも気軽に触れることができ、また、文法や日常会話の解説動画も多数掲載されています。(無料)

<https://aiueophonics.com/index.html>

- 「**耳慣らし英語リスニング2週間集中ゼミ**」(著者：小川 直樹 著 /アルク/1,650円) タイトルは「リスニング」ですが、日本人が必要な英語の音とリズムを、実践トレーニングと論理的な解説(読み物)の両方から、習得できる大人のための音声トレーニングのベストセラーです。単語単位の発音練習より先に、英語の音とリズムを理解し習得する構成になっているので、実践的なリスニング力向上やスピーキングの基礎練習としてお勧めです。(有料・書籍)

<https://book.alc.co.jp/book/b10029930.html>

4.4.2. 英文を語順通りに理解「目と口で語順処理能力を鍛える」

この練習の目的は、英語をきれいな日本語に訳すのではなく、**英語を英語の語順のまま**

理解する力を鍛えることです。

Language Form & Meaningで紹介した模擬問題Questions 13-18を見てみましょう。

Theresaという少女の物語の一節です：

1. Theresa は見た(何を) / その番号たちを / ロトチケットの上の / もう一度。
2. それは難しかった / 信じるのが / (何を? that以下を読んでみよう) / そのチケットの価値 / 3百万ドル。

1、2 の日本語を読んでも、十分に内容が理解できそうです。これが「英語の語順で理解する力」です。では、/(スラッシュ)で区切られた塊ごとに、英語を当てはめてみましょう。

1. Theresa looked / at the numbers / on the lottery ticket / again.
2. It was hard / to believe / that the ticket was worth / \$3 million.

丁寧に、次の練習を繰り返しましょう。最初は文法や語彙の例文を使って、1文単位から始めて全く問題ありません。むしろ、文法構文や英単語も身につく、好都合といえるでしょう。

これにより、読解スピードと内容の理解度が大きく向上します。

- 読解練習用の英文を用意して下さい。書き込みやすいよう、事前にコピーをとる、自力でタイプして、書き込み用のドキュメントを準備しても構いません(タイピングして英文を移すのも、大変良い練習になります)。
- 教材は本冊子で紹介しているデータ版模擬、学校や塾で使っている文法書、単語帳、教科書、何でも構いません。
- 使うスキル(どちらも本冊子で紹介済み)：
 - **スラッシュリーディング**: 意味のまとまり(チャンク)で文章を区切って読む技術。

- **英語のリズム**: 英語特有の強弱やリズムを再現する力。

【練習のステップ】

ステップ1: 精読

意味のまとまりごとに区切り、内容を深く理解していきます。

1. 文章を読みながら、主語+動詞、接続詞、関係代名詞、代名詞など品詞や役割ごとに色分けしてマーカーで印をつけましょう。
2. 語順通りにスラッシュを入れながら、各チャンクの意味を日本語でつぶやきながら読み進めます。
3. 代名詞(例: it, they)が出てきたら、「それ」ではなく、それが指す具体的な名詞を声に出しましょう。(例: 「それ」→「その計画は...」 「they」→「日本の企業は」「従業員たちは」)

ステップ2: 要約(言い換え)

文章の内容を自分の言葉でまとめ、理解を深めます。

1. 文章を**段落ごと**に区切って音読します。
2. 音読した内容を、自分の言葉で要約しましょう。
 - **初級レベル**: 日本語で要約します。
 - (**上級レベル**: **英語で要約**する、または、内容を別の表現に**言い換え**たりしてみましよう。)

ステップ3: 音読

文章を音源のスピードに合わせて繰り返し音読し、英語のリズムを体に覚え込ませます。

1. お手本となる読み上げ音声に合わせて、**最初から最後まで**音読します。
2. **音読**は英語の音とリズムの習得に加えて「**目**」を使うことで、**リーディング力の基礎を伸ばす**ことができます。

※モチベーションの維持・向上には次の通り、Step 1の前に現状把握(Step 0)を、そして、Step 3の後に効果測定を(Step 4)を加えると、効果的です。

※ステップ0: 黙読と現状の把握

まずは文章を黙読し、現状の読解スピードを測定します。

1. 文章を読み始め、時間を計測します。
2. 知らない単語があっても気にせず、文章全体の意味をざっくりと把握しながら最後まで読み切ってください。
3. 読み終えた時点の時間を記録します。

※ステップ4: 黙読と効果測定

最後に再度黙読し、読解スピードの向上を確認します。

1. もう一度文章を黙読し、タイムを測定します。
2. ステップ1と比べて、読解スピードが上がっているか確認しましょう。同時に、内容をより深く理解できているかも実感できるはずです。

ステップ1を実践してみましょう！

Reading Comprehensionで紹介した模擬問題Questions 18-25の物語を見てみましょう。

【Reading Comprehension スラッシュ入り】長文を自分で分析し、「見える化」しましょう。

例：主語に下線、動詞にハイライト、または、知らない単語に青、接続詞に黄色、前置詞に

ピンク、同じこと・人を指す代名詞に同色ハイライト、など同じ英文を使って、目的を変えながら、何度も学習できそうです。は「補助輪」ですから、自分が一度に理解できる「意味の塊」であれば、不必要にたくさん入れる必要はありません。最終的には、スラッシュ無しで読めることが理想です。

Question 18-25

①主語に波線を引いています ②同じ先行詞の代名詞に同色のハイライトを入れています。
読みながら、動詞に線を引いて、戻り訳せずに、大まかな意味をとらえて読み進めましょう。

The game wasn't going well. //

It was the semi-finals / of the National Middle School Soccer Championship. // There were only five minutes left / in the game / and David's team, /the Grovefield Gorillas, / was losing.// The score was 2-1. //

"Come on / Grovefield," / shouted David's friends. // "Come on, / David! / You can do it!" //But David had no confidence. // He was tired / and his whole body ached. // His family wasn't even at the game / to cheer him on. // Worst of all, / he had lost his lucky shirt. // There was no way / his team could win / now. //

But at least / his team had the ball. //

Billy Harris passed it / to Craig Willard. // Craig kicked **the ball** / over the goalie's head. // **It** went in! // The score was tied, / 2-2! // David began / to feel better / about the game. //

As they were restarting the game, / David saw his family car / suddenly pull up / in the parking lot. // His parents and his brother Jack ran / out of the car. // "David!" / **Dad** shouted. // "**I** found it! // **I** found your lucky shirt!" // **He** ran over / to David. // As **David** quickly put on the shirt, / **he** asked, / "Where did **you** find it?" //

"It was under Jack's bed. // Now go win!" //

David picked up the ball / and ran / into the penalty box. // There were only five seconds left / in the game! // He shot the ball— GOOOOAAAALLLLLLL! // It really was a lucky shirt! //

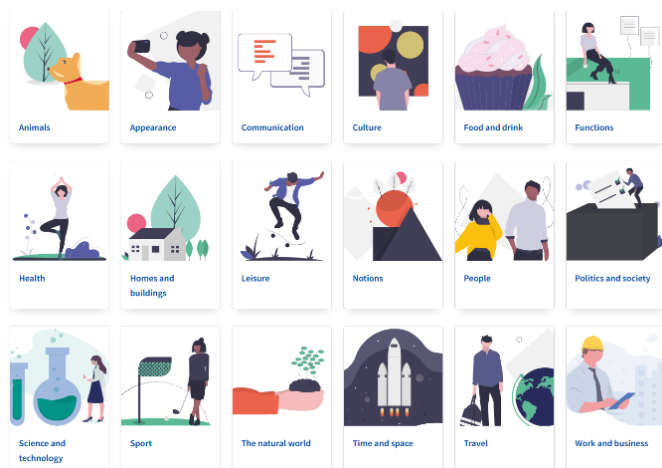
【お勧め教材】

【英語を英語で学ぶ第一歩を踏み出しましょう！】（無料）

「Oxford Learner's Dictionaries」

<https://www.oxfordlearnersdictionaries.com/>

- 語彙、例文、文法学習項目など、すべてのカテゴリに CEFRの目安が記載されているので、TOEFL Junior®のスコアに合った難易度の語彙・文法・例文に触れることができます。
- 語彙A-B2 の3000語、B2-C1の5000語が掲載されているので、自分のスコアに合わせて、語彙や例文を選ぶことができます。
- "Topic Dictionaries"にアカデミックや日常生活のジャンル分けがされており、語彙やリーディング素材を選んで、練習することができます。



- "Learn & Practice Grammar" は文法項目をCEFRレベルで検索できます。例：現在完了形でも、難易度ごとに分けてあるので、自分の現在のスコアに合ったレベルの例文で学習することができます。

— Present perfect simple

affirmative, negative, yes/no questions **A2**

contrast: present perfect vs past simple **B1**

for/since **B1**

have been vs have gone **A2**

just/already/yet **B1**

negative sentences with still and yet **B1**

wh- questions **A2**

【自分の興味がある分野の公式サイトを活用するのもお勧めです】

例：「National Geographics (ナショナルジオグラフィックKids)」

<https://kids.nationalgeographic.com/>

例：「TATE (イギリスTATE 美術館 公式サイト Kids)」

<https://www.tate.org.uk/kids>

4.5. 模擬問題を使って自己学習を進めよう

データ版 TOEFL Junior® テスト Basic レベルの模擬試験の問題をセクションごと、

スコア別に掲載してあります。問題のジャンルや内容を参考に、取り組みやすい問題を選んで、自己学習を継続しましょう。

「スコア別 模擬試験 おすすめ問題 一覧」

データ版模試 Basic Listening Comprehension	
スコア (300 点満点)	
290-300	長めのスピーチについて、内容が学術的か一般的か、また表現が明確か暗示的かを問わず、趣旨を理解できる。長めのスピーチについて、内容が学術的か一般的かを問わず、重要ポイントを特定することができる。話し手のイントネーションやアクセントから推測することができる。より長めで複雑なスピーチで使われるイディオムをおおむね理解できる。内容が学術的か一般的かを問わず、長めのスピーチについて、話し手がどのように情報を使っているか理解できる（例：意見を補足するために、比較をしたり証拠を提示したりする）。
250-285	内容が学術的か一般的かを問わず、表現が明確で、簡単な英語によって文脈が明確であれば、長めのスピーチについて、趣旨を理解できる。内容が学術的か一般的かを問わず、簡単な英語で文脈が明確であれば、長めのスピーチについて、重要ポイントを特定できる。簡単な英語で文脈が明確であれば、短いスピーチについて、内容を推測できる。やや複雑なスピーチで使われる一般的なイディオムを理解できる。身近な内容であれば、話し手がどのように情報を使っているか理解することができる（例：意見を補足するために、比較をしたり証拠を提示したりする）。
225-245	表現が明らかであれば、教室での短いアナウンスの趣旨を理解することができる。短いスピーチや会話において、表現が明らかで、強調されている場合には、重要ポイントを理解することができる。シンプルな英語で文脈が明確であれば、話された内容の直接的な言い換えを理解することができる。シンプルな英語で文脈が明確であれば、短いスピーチにおける話し手の目的を理解することができる。
below 225	アナウンス、短いスピーチ、簡単な会話の趣旨と重要ポイントを理解できるよう練習しましょう。シンプルかつ文脈が明確な短いスピーチの内容から、話し手の意図を理解する練習をしましょう。シンプルかつ文脈が明確な英語で話されている内容を、正しく適切に言い換える練習をしましょう。

※各スコアに求められる力は上記以外にも多岐にわたります。TOEFL のスコアをもとに、自己学習を始めるための目安として活用してください。

データ版模擬テストTOEFL Junior® Basic



ゲストエリア
パスワード:

toefljp

TOEFL Junior

Basic 音源

Basic 問題

Basic 解答

をダウンロードしてください。

学習のアドバイス		模試の問題番号
・分からなかった語彙と同ジャンルの関連語彙を5つ調べる ・語彙学習＝例文単位で、音読するまでがワンセット		・優先順位の高い問題から、上から順に提示して います（問題の通し番号順に解く必要はありません）
・4～10文程度のやり取りやトーク を聞き続ける力 ・聞きながらメモを取る、読む力 ・アメリカや北米に関する語彙・知識 ・思い出や過去の出来事などの詳細な 描写		
・4～6文程度のやり取りやトークを 聞き続ける力 ・聞きながらメモを取る、読む力 ・自分が学んでいない高校教科のキー ワード ・アメリカや北米に関する語彙・知識 ・手順やルールの説明	・解説を読み、次のタイプの問題は必 ず正解の根拠が分かるまで精読や音 読を行う 「主題の問題」、「詳細事項の問題」 「修辭的構造の問題」	Part 2 Q13-16 学食（会話） (p.9) Q30-33 トビウオの生態（会話） (p.11) Q34-37 環境問題（トーク） (p.12) Q22-25 食事（会話）(p.10) Q25-29 衣類の歴史（トーク）(p.11)
・始めの2～3文程度を聞き続ける力 ・聞きながらメモを取る力 ・選択肢を素早く読む力 ・助動詞の理解と文中の発音： must, must be, could や would などの多様な用法 ・従属接続詞の理解と文中の発： while, because, after など	・解説を読み、次のタイプの問題は必 ず正解の根拠が分かるまで精読や音 読を行う 「主題の問題」	Part 1 (p.8) Q3 数学の先生 Q5 クラブ活動 Q7 課外活動（博物館） Q8 スペイン語の授業 Part 2 Q13-16 学食（会話） (p.9) Q38-42 真珠の成長（会話） (p.13) Q9-12 クラブ活動（会話）(p.9)
・英語特有の強弱リズム・等時性に合 わせて文単位で英語を聞く力 ・SVC, SVO の語順で理解する力 ・要望・依頼・勧誘の表現	・解説を読み、次のタイプの問題は必 ず正解の根拠が分かるまで精読や音 読を行う 「話し手の意図の問題」	Part 1 (p.8) Q1 音楽の先生 Q2 クラブ活動 Q4 新しい先生 Q6 図書館

データ版模試 Basic

Reading Comprehension

スコア (300 点満点)	
280-300	表現が明らかでない場合も含め、内容が学術的か一般的かを問わず、趣旨を理解することができる。難易度の高い複雑な英語を用いた文章も含め、内容が学術的か一般的かを問わず、重要ポイントを正確に理解できる。内容が学術的か一般的かを問わず、読む際に、著者が特定の情報を含めた理由を理解するために必要な推測を含めて（例：意見を補足するために、比較をしたり証拠を提示したりする）、効果的に推測することができる。フィクションに登場する人物の態度や考え方を推測することができる。比喻をおおむね理解でき、複雑な英語を用いた学術的な文章においても、文脈から知らない単語の意味を把握できる。
245-275	表現が明らかであれば、内容が学術的か一般的かを問わず、趣旨を理解できる。文脈が必ずしも明確でなく、知らない単語が含まれていても、内容が学術的か一般的かを問わず、重要ポイントをおおむね特定できる。内容が学術的か一般的かを問わず、著者が特定の情報を含めた理由を理解するために必要な推測を含めて（例：意見を補足するために、比較をしたり証拠を提示したりする）、的確に推測できる場合がある。フィクションの出来事やあらすじをおおむね特定できる。シンプルな構成の文章において、文脈から知らない単語の意味をおおむね把握できる。
210-240	表現が明らかで、内容が一般的であれば、趣旨を特定できる場合がある。シンプルな英語で文脈が明確であれば、内容が学術的か一般的かを問わず、基本的なポイントを特定できる場合がある。予定表やメニューなど、日常的かつ一般的な語彙を用いた非定型の文章から、基本的な情報をおおむね見つけることができる。平易な文章で、内容が一般的であれば、場合によっては単純な推測を行うことができる。シンプルな構成の文章で、内容が一般的であれば、文脈から知らない単語の意味を把握できる場合がある。
below 210	シンプルかつ明確な英語で書かれた文章の、趣旨と重要ポイントを特定する練習をしましょう。シンプルかつ明確な英語で書かれた文章から、内容を推測できる練習をしましょう。予定表やメニューなど、非定型の文章から基本的な情報を見つける練習をしましょう。知らない単語でも、文脈から意味を把握できる練習をしましょう。

※各スコアに求められる力は上記以外にも多岐にわたります。TOEFL のスコアをもとに、自己学習を始めるための目安として活用してください。

学習のアドバイス		模試の問題番号
・分からなかった語彙と同ジャンルの関連語彙を5つ調べる ・語彙学習＝例文単位で、音読するまでがワンセット		・問題・各セクション、太字問題から取り組みましょう。 ・優先順位の高い問題から、上から順に提示しています（問題の通し番号順に解く必要はありません）
・1分間に120語以上のスピードで、文書を読み理解する力 ・比喩や言い換え等、文脈から理解する力	・初見で時間以内に「同義語の問題」以外は全問正解を目指す ・解説を読み、次のタイプの問題は必ず正解の根拠が分かるまで精読や音読を行う 「比喩表現の問題」 「同義語の問題」	
・1分間に100～110語程度のスピードで、文書を読み理解する力	・最初のパラグラフを、時間をかけて正確に読み、次のタイプの問題は必ず正解の根拠が分かるまで精読や音読を行う 「主題の問題」 「代名詞の問題」 「同義語の問題」	Q34-43 文書（科学・睡眠） (p.26-27) ・まず、最初のパラグラフを時間をかけて正確に読み Q34, 35, 36, 41のみ取り組む
・1分間に100語程度スピードで、200～250語程度の量を読み主題や重要なポイントを理解する力 ・スラッシュを引きながら戻り訳をせず読む力 ・文中の主語、動詞、代名詞を素早く正確にとらえる力	・解説を読み、次のタイプの問題は必ず正解の根拠が分かるまで精読や音読を行う 「詳細の問題」 ・知識が問われる「同義語の問題」は解けなくてもよいが、必ず復習をする	Q6-11 手紙 (p.18-19) Q26-33 文書（世界史・古代） (p.24-25) ・Q26「詳細の問題」は必ず取り組む Q12-17 記事 (p.20-21) ・Q12「詳細の問題」は必ず取り組む
・1分間に80～90語程度のスピードで、150～200語程度の文書を理解する力 ・スラッシュを引きながら戻り訳をせず読む力 ・文中の主語、動詞、代名詞を正確にとらえる力	・問題に正解することを目的とせず、「正確に速く読むための精読練習」に取り組む	Q1-5 表（合宿のスケジュール） (p.16-17) Q18-25 物語（サッカーの試合） (p.22-23)

データ版模試 Basic

Language Form and Meaning Comprehension

スコア (300 点満点)	
280-300	内容が学術的か一般的かを問わず、難易度の高い文法構造（例：関係詞節など）の意味や使い方をおおむね正確に認識できる。主に学術的な内容で使われる単語を含む幅広い語彙を身に付けている。内容が学術的か一般的かを問わず、文章の効果的な段落構成をおおむね認識できる。
250-275	内容が学術的か一般的かを問わず、基本的な文法構造（例：形容詞の比較級など）の意味や使い方をおおむね正確に認識できるが、難易度の高い文法構造の意味や使い方は必ずしも認識できない。日常的によく使われる一般的な語彙を身に付けている。一般的な内容であれば、文章の効果的な段落構成をおおむね認識できるが、学術的な内容では困難となる場合がある。
210-245	一般的な内容であれば、最も基本的な文法構造（例：動詞の現在形・過去形など）の意味や使い方を正確に認識できる場合がある。最も頻繁に使われる、一般的な語彙を身に付けている。一般的な内容であれば、文章の効果的な段落構成を認識している場合もあるが、学術的な内容では困難となる場合が多い。
below 210	一般的な語彙を増やしましょう。基本的な文法構造（例：主語と動詞の一致、簡単な前置詞など）に関する知識や使い方をさらに身に付ける練習をしましょう。文章構成の基本的な仕組みを理解する練習をしましょう。 基本的な文法構造（例：主語と動詞の一致、簡単な前置詞など）に関する知識や使い方をさらに身に付ける練習をしましょう。 文章構成の基本的な仕組みを理解する練習をしましょう。

※各スコアに求められる力は上記以外にも多岐にわたります。TOEFL のスコアをもとに、自己学習を始めるための目安として活用してください。

模試の問題番号

・問題・各セクション、太字問題から取り組みましょう。

・優先順位の高い問題から、上から順に提示しています（問題の通し番号順に解く必要はありません）

Q19-26 説明文（社会問題）（p.38）

Q19-22 主語+動詞、Q24 関係詞、Q23, 25, 26 語彙

Q27-34 説明文（芸術）（p.40-41）

Q27, 30 語彙、Q32 比較級、Q34 関係詞、Q28-31 語法

Q35-42 説明文（生物）（p.42-43）

Q37, 40, 41、語彙 Q36 形容詞（分詞）、Q38 to 不定詞を使った構文、Q39 関係詞、Q40 主語+動詞

Q9-12 広告（娯楽）（p.34-35）

Q9 主語+動詞、Q10,11,12 語彙

Q13-18 物語（描写）（p.36-37）

Q13, 14 主語+動詞、Q15, 16, 17 語彙

Q1-4 Eメール（p.30-31）

Q2, Q4 は直後に不定詞、または動名詞のみを使う動詞の一覧を参考書などで確認

Q5-8 お知らせ（p.32-33）

Q5 There is/are、Q6, Q7 主語+動詞、Q8 前置詞

5. おわりに

TOEFL Junior®は、皆さんが「英語」というOS(基本ソフト)を正しく搭載できているか、そして日本語と切り替えながらスムーズに使いこなせているかを測定する試験です。

英語を自然に運用するために必要なのは、**英語特有の「強弱のリズム」を身につけること**、そして**日本語に訳さず英語の語順のまま理解する「語順処理」の力を養うこと**です。前者は「目・口・耳」の連動を、後者は「理解の手順」を、日本語とは異なる英語のOSで最適化するためのトレーニングといえます。

この二つの基礎トレーニングを軸に、馴染みのない語彙や苦手な文法に出会ったら、その都度、学校の授業や教材で確認していきましょう。そうすることで、英語を運用するための「OS」が着実にアップデートされていきます。

大切なのは英語に「触れる頻度」を増やすこと。脳が「英語は毎日使う、当たり前の

ものだ」と認識するまで、細く長く続けていきましょう。

英語学習は学校の科目であると同時に、人生を豊かにする「ライフスキル」でもあります。**スポーツや料理と同じで、ルールを学ぶ「座学」と、実際に動く「実践」の両面からのアプローチが欠かせません。学習の過程では、どちらか一方に偏る時期があっても大丈夫です。**

この冊子では、「健康のために運動しましょう」といった抽象的なスローガンではなく、「今のあなたには、このトレーニングが最適です」という具体的な学習法を提示していますから、まずは、今お手元にある教科書やスマートフォンを使って、今から始めてみてください。皆さんのこれまでの努力を讃えるとともに、これからも続く挑戦を、心から応援しています。

著者紹介

斎藤 美祈

- ・ 所属：一般社団法人国際教育英語試験協会(GEET/ジート)
TOEFL Primary®/TOEFL Junior®普及事業部門 東日本副責任者
- ・ 保有資格：JAOS認定 留学カウンセラー資格
ESAC®認定 英語学習アドバイザーマスター資格
J-Shine 小学校英語指導者資格
メタメトリックス社公認レクサイルエドューケーター
- ・ 職務経歴 宝石鉱物専門商社(勤務地: オーストラリア)ショールームマネージャー、
セールスマネージャーとして10年間勤務
株式会社 アルク(旧アルクエデュケーション)にて講師採用研修トレーナー、
研修講師、学習アドバイザー、各種セミナー企画運営に携わる
株式会社 東京インターナショナルスクール グループにて
語学プログラムマネージャー、ブランディングマネージャーとして従事

解答と和訳

N: Narrator M: Man W: Woman B: Boy G: Girl

Question 1

p. 8

N Listen to a music teacher making an announcement in school.

W [full of enthusiasm] Hello students! Do you love music? Can you play an instrument? If you do, I want to personally invite you to join the school band! That's right! Our band program has some of the finest students at Auburn Middle School. So talk to your parents, and then come see me in my office next to the band room.

N What is the purpose of the announcement?

N 音楽の先生がお知らせする内容を聞きなさい。

W [非常に情熱的に] こんにちは生徒のみなさん！音楽は好きですか？楽器を演奏することができますか？もしそうなら、学校のバンドに加入するよう、みなさんを招待したいと思います！そうです！我がバンドのプログラムには、Auburn 中学校の最高の生徒たちがいます。だから両親と相談して、バンド練習室の隣にある私のオフィスに訪ねて来てください。

N このお知らせの目的は何ですか？

■ 正解と解説

1. (D) 話し手の意図の問題。先生が生徒に音楽は好きなのかと聞きながら "... If you do, I want to personally invite you to join the school band!" と言っている。このことから、生徒に学校のバンドに加入するように勧誘するためにお知らせしていることがわかるので、(D) が正解である。

Question 2

p. 8

N Listen to a principal making an announcement in school.

W Good morning, students. I would like to remind you that the championship basketball game is tonight. There will be two buses outside at 4:30 to take students who want to see the game at Hemet Middle School. I hope everyone comes out and supports our team. Go Bears!

N What is the purpose of the announcement?

N 校長先生が学校でお知らせする内容を聞きなさい。

W こんにちは、皆さん。今夜、バスケットボール選手権大会があることを、再度お知らせしたいと思います。Hemet 中学校で試合を見たい生徒たちを連れて行くために、4 時 30 分にバスが 2 台、外に準備されます。皆で我が校のチームを応援してください。がんばれ、Bears !

N このお知らせの目的は何ですか？

■ 正解と解説

2. (A) 話し手の意図の問題。校長先生が生徒に "I would like to remind you that the championship basketball game is tonight" と言いながら、試合を見たい生徒を連れて行くためにバスが外に準備されていることを話している。このことから、バスケットボール選手権大会が今夜あることを生徒に再び知らせるために話していることがわかるので、(A) が正解である。

Question 3

p. 8

N Listen to a teacher talking in a math class.

W Your final exam is Friday. I will allow you to bring a study sheet. That means you can bring some notes on a piece of paper. The reason is I don't expect you to memorize all the formulas. It's more important that you know which one to use and how to use it.

N What is the purpose of the announcement?

N 先生が、数学の時間に話す内容を聞きなさい。

W 皆さん、期末試験が金曜日にあります。学習シートを一枚持って来ることを許可します。紙一枚にメモした内容は持つてくることができるということです。その理由は、あなたたちが公式をすべて暗記することを望んではないからです。どの公式をどのように使用するかを知っていることがより重要です。

N このお知らせの目的は何ですか？

■ 正解と解説

3. (B) 話し手の意図の問題。先生が生徒に期末試験が金曜日にあると話した後、"I will allow you to bring a study sheet" と言いながら、その理由を明らかにしている。このことから、数学の期末試験を受ける時、学習シートを一枚持ってきてもいいということを知らせるために話していることがわかるので、(B) が正解である。

Attention All Participants in the City Music Festival:

There have been some changes to the Saturday schedule. The vocal groups will perform at 1:00 instead of at 3:00 in the Main Hall. Also, the vocal soloist performances at 10:00 a.m. have been moved from the Main Hall to the Dorothy Parker Theater. Please check the map on back of the festival program for directions. We apologize for any inconvenience this may cause.

市立音楽フェスティバルのすべての参加者にお知らせします。

土曜日のスケジュールに若干の変更がありました。合唱団は3時ではなく1時に大講堂で公演します。そして、午前10時の独唱公演は大講堂からDorothy Parker劇場に場所が変わりました。アクセス方法はフェスティバルプログラム冊子の裏面の地図を確認してください。このことで不便をおかけしてしまい申し訳ありません。

■ 正解と解説

5. (C) 文の構造の問題。主語が新しい話題として後ろに出ることを知らせる誘導副詞 "there" と、主語と数が一致する be 動詞を選ぶ問題である。誘導副詞 "there" が使われた文の語順は 'there+be 動詞+主語' であり、このとき be 動詞は主語の数と一致している。したがって、(C) が正解である。

Key Expression: There have been some changes

6. (B) 主動詞の問題。主動詞になる語形と時制を考慮して、適切な主動詞を選ぶ問題である。選択肢ボックスの外に主動詞がないので、選択肢の中から適切な主動詞を選ぶ必要がある。to 不定詞は主動詞にならないので、(A) は、不正解である。この記事は土曜日のスケジュールの変更を事前に知らせる文章であり、公演は未来のでき事であるとわかるので、動詞の時制は未来でなければならない。したがって、現在完了時制 (C) と過去時制 (D) は不正解であり、未来時制 (B) が正解である。

Key Expression: The vocal groups will perform at 1:00

7. (B) 単語語形の問題。語幹が同じ4つの単語の中から表現と文脈を考慮して、適切な名詞を選ぶ問題である。前置詞句 "at 10:00 a.m." は、主語になることができない。したがって、選択肢ボックスの外に動詞句 "have been moved" の主語がないので、選択肢の中から主語を選ぶ必要がある。動詞と形容詞は主語になることができないので、動詞 (A) と形容詞 (D) は不正解である。10時の独唱パフォーマー (performers) が Main Hall から Dorothy Parker Theater に変わったというのは話にならない。10時の独唱公演 (performances) が Main Hall から Dorothy Parker Theater に変わったとすると話が通じるので、(C) は不正解であり、(B) が正解である。

Key Expression: the vocal soloist performances

8. (A) 語彙の問題。文脈を考慮して適切な前置詞を選ぶ問題である。私たちが謝る (We apologize) のと、これによって起こる可能性のある不具合 (any inconvenience this may cause) の意味関係は謝罪と理由の関係である。したがって理由を示す前置詞 "for" が正解である。ちなみに動詞 "apology" は `apology+for+ 謝る理由` の構文でよく使われる。

Key Expression: apologize for any inconvenience

解答と和訳

Questions 13~18

p. 36

Theresa looked at the numbers on the lottery ticket again. It was hard to believe that the ticket was worth \$3 million. She knew that Uncle Cal was searching madly for it right now. She planned to tell him, but for now she just wanted to hang on to it and think.

"If I ever won a million dollars, I would be out of here!" he'd once told her.

Now he had won a million dollars, and she wondered if he really would leave. Uncle Cal was all she had left—he was all that remained of her family. Theresa just couldn't bear to lose him, too.

Theresa は宝くじに書かれた数字をもう一度見た。この宝くじが 3 百万ドルの価値があるというのが信じられなかった。彼女は今、叔父の Cal が必死に宝くじを探していることを知っていた。叔父に言おうとしたが、今はただ、宝くじを握って考えてみたかった。* 百万ドルに当選すれば、ここを離れるよ！* 叔父はいつの日か彼女に言った。

今、叔父は百万ドルに当選し、彼女は叔父が本当に行ってしまうのではないかと思っていた。叔父は、彼女に残ったすべてだった。家族の中で唯一残った人であったのだ。Theresa は叔父すらも失ってしまうなんてことには到底、耐えることができなかった。

■ 正解と解説

13. (B) 文の構造の問題。仮主語 it と be 動詞を選ぶ問題である。接続詞選択肢ボックスの外に主語と動詞がないので、選択肢の中から適切な主語と動詞を選ぶ必要がある。動詞がない (A) は、不正解である。動名詞は主語として使われることがあるが、主動詞の役割まではできないので、(C) も不正解である。"There was" の後には名詞を使わなければならないのに、名詞がないので、(D) も不正解である。主語に使われた to 不定詞句 (to believe ... \$ 3 million) があまりにも長い時、文末に移し、その代わりに仮主語 "it" を使う。したがって仮主語 "it" と動詞 "was" がすべてである (B) が正解である。

Key Expression: It was hard to believe that the ticket was

14. (D) 文の構造の問題。適切な主語と動詞を選ぶ問題である。接続詞 "that" の後に主語と動詞があるので、その前にも主語と動詞がなければならない。ところが、選択肢ボックスの外に主語と動詞がないので、選択肢の中から適切な主語と動詞を選ぶ必要がある。主語がない (A) は、不正解である。to 不定詞と動名詞が主語の役割をすることはできるが、主動詞の役割まではできないので、動詞がない (B) と (C) も不正解である。主語 (She) と動詞 (knew) がすべてである (D) が正解である。

Key Expression: She knew that Uncle Cal was

15. (B) 語彙の問題。二つの節の意味関係を考慮して、適切な接続詞を選ぶ問題である。彼女は彼に言う計画だった (She planned to tell him) と、今はそれを握りたかった (for now she just wanted to hang on to it) の意味関係は対照関係である。したがって対照を示す接続詞 "but" が正解である。参考に、接続詞 "unless" は条件を、"and" は添加を、"so" は結果を示す。

16. (A) 語彙の問題。文脈を考慮して適切な副詞を選ぶ問題である。* 百万ドルに当選すれば、ここを離れるよ！* と Uncle Cal が Theresa に早く (early)、すなわち (soon)、まだ (still) 言ったとするのは話にならないので、(B)、(C)、(D) は不正解である。* 百万ドルに当選すれば、ここを離れるよ！* と Uncle Cal が Theresa に先日 (once) 言ったとするれば話が通じるので、(A) が正解である。

17. (B) 語彙の問題。文脈を考慮して適切な動詞を選ぶ問題である。百万ドルに当選すれば、ここを離れると叔父が言った前の部分を手がかりに、叔父は 3 百万ドルに当選したので、本当に離れるのではないかと考えたことがわかる。したがって叔父が本当に離れるのではないかを発見した (discovered)、描写した (described)、命令した (ordered) とするのは意味が通らない。叔父が本当に離れるのではないかと考えた (wondered) とすると話が通じるので、(A)、(C)、(D) は不正解であり、(B) が正解である。

Key Expression: she wondered if he really would leave

18. (D) 関係節の問題。語法と修飾を受ける名詞 (先行詞) を考慮して、適切な関係代名詞と関係節の動詞を選ぶ問題である。二つの動詞句 (was all と remained of her family) を接続詞なく続けて使うことができないので、(A) は不正解である。先行詞 (all) の後には関係代名詞 "what" を使うことができないので、(B) も不正解である。現在分詞 "remaining" は主動詞にならないので、(D) も不正解である。二つの節を接続する接続詞と関係節の主語の役割をする関係代名詞 "that" と動詞 "remained" がある (D) が正解である。

Key Expression: he was all that remained of her family

Dear Uncle Jack,

Thank you for remembering my birthday. I loved the gift you sent me! When Mom and I opened up the card, I didn't think there would be anything in it. I wish you could have seen the look of surprise on my face when tickets to Big Boom's concert fell out of it! How did you know it was exactly what I wished for when I blew out the candles on my birthday cake? I have always wanted to see Big Boom live in concert. Thank you so much for making my birthday wish come true! I invited my best friend, Janet, to go to the show with me. She loves Big Boom just as much as I do! We have already started to make posters to hold up at the concert.

Mom and Dad gave me a smartphone for my birthday. It takes great pictures and videos. I will make sure to use it at the concert so you can see Big Boom live in concert too!

Thank you again! I love you!

Tracie

Jack 叔父さんへ

わたしの誕生日を覚えていてくれてありがとうございます。送ってくださったプレゼント、本当に気に入りました！母さんと私がカードを開いて見たとき、私はその中に何かがあるとは思いませんでした。Big Boomのコンサートチケットがそこから落ちたときの、私の驚いた表情を叔父さんが見たら良かったと思います！私が誕生日ケーキの燭燭を吹き消しながら願ったことが、まさにそれだったことをどうして知っていたんですか？私はずっと、Big Boomの演奏をコンサートで見たかったんです。私の誕生日の願いを叶えてくれて、本当に感謝します！

私の最も親しい友人のJanetを、公演と一緒にに行こうと誘いました。その子もBig Boomを私と同じくらい好きなんです！私たちはコンサートに持っていくポスターを作り始めました。

母さんと父さんは誕生日のプレゼントとして私にスマートフォンをくれました。写真と動画が非常によく写ります。コンサートでスマートフォンを使用して、叔父さんもBig Boomのコンサートライブが見られるようにしてみます！

改めて、ありがとうございます！大好き！Tracieより

■ 正解と解説

6. (B) 筆者の意図問題。手紙の前の部分に“Thank you for remembering my birthday. I loved the gift you sent me!”と書かれており、残りの部分では、叔父がプレゼントしたBig Boomのコンサートにどれほど行きたいと思っていたのか、そしてコンサートを前にして、どれほど舞い上がっているかについて書いている。したがって、筆者がこの手紙を書いた目的は叔父が送った誕生日プレゼントについて感謝するためであることがわかるので、(B)が正解である。
7. (A) 詳細事項の問題。Tracieが自分の誕生日ケーキの燭燭を吹き消しながら願った事がBig Boomのコンサートに行くことであったと記してあるので、(A)が正解である。
8. (C) 推論問題。TracieはずっとBig Boomがコンサートでライブするのを見たかったとあり、叔父のプレゼントでその願いが叶うと書いている。このことからTracieがBig Boomのコンサートには行ったことがないと推測することができるので、(C)が正解である。
9. (C) 代名詞の問題。“I wish you could have seen the look of surprise on my face when tickets to Big Boom's concert fell out of it!”でBig Boomのコンサートチケットが“it”から落ちたときの私の驚いた表情を叔父が見たらよかったと書かれている。すぐ前の文には、母さんと一緒にカードを開いて見たとき、その中に何かがあるとは思っていなかったと書かれている。このことから、Big Boomのコンサートチケットが入っていた“it”が指すものが、Tracieが母親と一緒に開いたカードであることだとわかるので、(C)が正解である。
10. (B) 詳細事項の問題。Tracieは最も親しい友人のJanetを公演と一緒にに行こうと誘い、二人は今からコンサートに持っていくポスターも作り始めた、母さんと父さんに誕生日プレゼントとしてもらったスマートフォンをコンサートで使用すると書かれている。スマートフォンで写真やビデオを撮ることができるという内容はあるが、ビデオを持っていく内容はないので、(B)が正解である。
11. (D) 修辭的構造の問題。Tracieはコンサートで必ずスマートフォンを使用して、叔父もBig Boomのコンサートを見ることができようとして書いている。したがって、Tracieがスマートフォンについて言及した理由は、叔父がコンサートにいなくてもどうやってBig Boomのコンサートを見ることができるかを説明するためなので、(D)が正解である。

The game wasn't going well. It was the semi-finals of the National Middle School Soccer Championship. There were only five minutes left in the game and David's team, the Grovefield Gorillas, was losing. The score was 2-1.

"Come on Grovefield," shouted David's friends. "Come on, David! You can do it!" But David had no confidence. He was tired and his whole body ached. His family wasn't even at the game to cheer him on. Worst of all, he had lost his lucky shirt. There was no way his team could win now.

But at least his team had the ball.

Billy Harris passed it to Craig Willard. Craig kicked the ball over the goalie's head. It went in! The score was tied, 2-2! David began to feel better about the game.

As they were restarting the game, David saw his family car suddenly pull up in the parking lot. His parents and his brother Jack ran out of the car.

"David!" Dad shouted. "I found it! I found your lucky shirt!" He ran over to David.

As David quickly put on the shirt, he asked, "Where did you find it?"

"It was under Jack's bed. Now go win!"

David picked up the ball and ran into the penalty box. There were only five seconds left in the game! He shot the ball—GOOOOAAAALLLLLLL!

It really was a lucky shirt!

試合はうまくいっていなかった。全国中学校サッカー選手権大会の準決勝であった。試合時間が5分しか残っていないのに、DavidのチームであるGrovefield Gorillasは負けていた。スコアは2対1であった。"Grovefield頑張れ。" Davidの友人が叫んだ。"頑張れ、David！あなたならできる！"しかしDavidは自信がなかった。彼は疲れていたし、体も痛かった。家族は応援しに試合を見に来もしなかった。最も悪いのは、彼が幸運のシャツを失くしてしまったことだ。今、彼のチームが勝つことができるはずがなかった。しかし、少なくとも彼のチームがボールを持っていた。

Billy HarrisがボールをCraig Willardにパスした。Craigがボールをゴールキーパーの頭の上に蹴った。入った！スコアは2対2、同点になった！Davidは試合について希望を持ち始めた。

試合が再度、始まろうとしているとき、Davidは自分の家の車が駐車場に停止するのを見た。両親と弟のJackが車から走って出てきた。

"David！"父親が叫んだ。"見つけた！お前の幸運のシャツを見つけたぞ！"彼はDavidに走ってきた。

Davidはいち早くシャツを着ながら尋ねた。"これはどこで見つけたの？"

"Jackのベッドの下にあった。さあ、行って勝て！" Davidはボールを持ってペナルティエリアに走った。試合の残り時間はわずか5秒！彼はボールを蹴った。ゴール——オオル！

それは本当に幸運のシャツだった！

■ 正解と解説

18. (C) 主題の問題。この話は、Davidがサッカーの試合で、ゲーム終了まで残り僅かの状況で自分のチームが負けていると、幸運のシャツがないせいで勝つ見込みがないと考えたが、後に試合が同点になり、ちょうど父親が見つけた幸運のシャツを着て、終了5秒前にゴールを決めたという内容である。したがってDavidの幸運のシャツが真の幸運のシャツの役割を果たしたという内容であるため、(C)が正解である。
19. (A) 同義語の問題。Davidの友人がDavidに頑張れと応援したが、Davidは"confidence"がなかったと書かれている。次の部分に彼は疲れていて、全身が痛しい、家族は応援しに来なかったし、幸運のシャツさえ失くしてしまったと書かれているので、Davidが物理的、精神的にも活発に試合を繰り広げる状態ではないことがわかる。したがって、友達の応援にもかかわらず、Davidが勝利の自信がない状態だったので、"自信"という意味を持つ(A)が正解である。
20. (D) 推論問題。DavidはGrovefield Gorillas所属だと書かれていて、Davidのチームがボールを持っているとき、Billy HarrisがCraig WillardにボールをパスしてCraigがゴールを入れて、2対2の同点にしたと書かれている。このことからBilly HarrisがDavidのチーム、すなわちGrovefield Gorillasの所属選手であることがわかるので、(D)が正解である。
21. (C) 詳細事項の問題。Billy HarrisがCraig WillardにボールをパスしてCraigがゴールを入れて、スコアが同点になったと書かれているので、(C)が正解である。
22. (A) 同義語の問題。試合が再度始まろうとした時、Davidは自分の家の車が駐車場に急に"pull up"するのを見たとし、すぐ後の文章で両親と弟のJackが車から走って出てきたと書かれている。Davidの家族が車から走って出てくるには、その前に車が止まったはずなので、"pull up"が"停止する"の意味であることがわかる。したがって、(A)が正解である。
23. (B) 代名詞の問題。"He ran over to David."で"He"はDavidに走ってきたと書かれている。すぐ前の文章にDavidの父親が幸運のシャツを発見したと叫んだと書かれているので、Davidに走ってきた"He"がDavidにシャツを発見したと叫んだDavidの父親であることがわかる。したがって、(B)が正解である。
24. (B) 詳細事項の問題。Davidが幸運のシャツをどこで見つけたかと聞くと、Davidの父親がJackのベッドの下にあったと言ったので、(B)が正解である。
25. (D) 修辭的構造の問題。Davidがボールを持ってペナルティエリアに走っていくと、試合時間はわずか5秒しか残ってなかったと書かれている。このことから筆者が試合時間がわずか5秒しか残ってないと言及した理由は、Davidがゴールを入れることができる時間がほとんどない緊迫した状況であったことを表すためであることがわかる。したがって、(D)が正解である。

The Colosseum in Rome, Italy, is one of the most famous buildings in the world. This 2,000-year-old outdoor stadium has 50,000 seats and has been used for many kinds of events.

The Colosseum was mostly used for gladiator games. Professional fighters would entertain audiences by fighting other gladiators. People loved watching these very bloody and deadly fights. Getting a seat to a gladiator game was often difficult, similar to popular sports games today.

Animal hunts were also held at the Colosseum. Painters and builders would create a large forest. It would even have real trees and plants. Exotic animals, such as hippos, giraffes, and tigers, were brought in from other countries. Contests would be held to see who could hunt and kill the most animals. These hunts were usually very large. One animal hunt even had 11,000 animals and 10,000 gladiators in 123 days.

The Colosseum has gone through earthquakes, fires, and other disasters. So, large events no longer take place inside. However, the Colosseum is still used for smaller performances and shows. And many large concerts are often held just outside of the Colosseum.

イタリアのローマのコロシウムは、世界で最も有名な建物の中の一つだ。この2千年経つ屋外の競技場には5万席を備えており、様々な種類のイベントに使われてきた。

コロシウムは主に剣闘士の競技に使われた。プロの格闘家が他の格闘家と戦い、観客を楽しませた。人々はこのような非常に血が出る、致命的な戦いを見物するのを非常に好んだ。格闘家の競技の座席を手に入れる事は、今日の人気スポーツ競技と同様に大変な時が多かった。

動物の狩猟もコロシウムで行われた。画家と建築家が大きな森を作る時もあった。そこには本物の木と草であった。カバ、キリン、トラのようなエキゾチックな動物を他の国々から導入した。誰が動物を最も多く狩り、殺すことができるかを見るための試合が開かれる事もあった。このような狩りは、普通、非常に大きい規模で行われた。さらにとある動物の狩猟は、123日間、獣が1万1千匹、格闘家が1万人も登場した。

コロシウムは、地震、火災、その他の災害を経験してきた。だから、今はもうその中で大きな行事は行われない。しかし、コロシウムは比較的小さな公演とショーにはまだ使われている。そして、様々な大規模のコンサートがコロシアムのすぐ外でしばしば行われる。

正解と解説

26. (A) 主題の問題。文章の最初の段落に "This 2,000-year-old outdoor stadium has 50,000 seats and has been used for many kinds of events." と書かれていて、二番目、三番目、四番目の段落ではコロシウムが過去、剣闘士の競技と動物の狩猟に用いられ、現在では公演場として使われる事を説明している。したがって、この文章は全体的に、コロシウムが様々な用途に使われてきたことを説明する文であることをわかるので、(A) が正解である。
27. (D) 詳細事項の問題。イタリアローマのコロシウムは、世界で最も有名な建物の一つとして、5万席を備えており、剣闘士の競技、動物の狩りなど様々な種類のイベントに使われてきたと書かれている。したがって、コロシウムが剣闘士の競技のみに使われたとする (D) は、文章の内容と異なっている。
28. (B) 推論問題。人々は剣闘士が登場する血が出る、致命的な戦いを見物にするのを非常に好んだと書かれているので、試合をする剣闘士が深刻な怪我を負ったり、さらに命を失ったりすることもしばしばあったと推測することができる。したがって、(B) が正解である。
29. (A) 修辭的構造の問題。剣闘士の競技の座席を手に入れることは、今日の人気スポーツ競技と同様に大変な時が多かったと書かれている。したがって、筆者が今日のスポーツ競技を言及した理由は、剣闘士の戦いはどれくらい人気があったのかを具体的な比較例を出して示すためなので、(A) が正解である。
30. (A) 詳細事項の問題。動物の狩猟もコロシウムで開かれた、画家と建築家が大きな森を作った時もあると書かれているので、(A) が正解である。
31. (C) 代名詞の問題。"It would even have real trees and plants." では、"it" には本物の木や草であったと書かれている。すぐ前の文章に画家と建築家が大きな森を作った時もあると出ているので、これによって木や草で備えているとした "it" が指すものが前に書かれている森であることがわかる。したがって、(C) が正解である。
32. (D) 慣用句の問題。今はもうその中で大きな行事が "take place" していないと書かれており、すぐに次の文で、しかしコロシウムは比較的小さな公演とショーのためにはまだ使われていると書かれている。"However" は前後の内容が互いに対照を成すときに使用されるため、"However" の前の部分に出てくる内容がコロシウムで大きな行事はしないという意味だと推測することができる。したがって、"take place" が "開く" の意味であることがわかるので、" (事が) 起こった "の意味を持つ (D) が正解である。
33. (A) 詳細事項の問題。コロシアムの外では、色んな大規模なコンサートがしばしば開かれると書かれているので、(A) が正解である。

